

令和 6 年版

消 防 概 要



名 取 市 消 防 本 部

は じ め に

この概要は、令和５年度中における名取市の主な消防事象を統計的に収録したものであります。これを通して、本市消防行政の一端をご理解いただきますとともに、防火防災の一助にご活用賜れば幸いと存じます。

なお、火災・救急等の災害統計は暦年により、その他の関係事業・事項については会計年度をもって表していますが、表中年月日等を明示したものは、その時点での現況を表しています。

令和６年８月

名 取 市 消 防 本 部

目 次

はじめに

I 市 勢 概 要

1.名取市消防本部の統計概要	1
2.名取市の概要	2
3.名取市の位置・管内図	3
4.名取市の世帯数・人口・市域面積の変遷	4

II 総 務

5.名取市消防本部の沿革	5
6.消防本部・消防署の機構	12
7.消防庁舎概要	12
8.歴代消防長・次長・署長	13
9.消防費予算額・決算額状況	15
10.消防職員数及び配置状況	16
11.消防職員技術資格取得状況	16
12.階級別年齢別職員数	17
13.階級別勤続年数別職員数	18

III 消 防 団

14.名取市消防団の沿革	19
15.消防団主要行事	23
16.消防団の機構及び人員	24
17.歴代消防団長・副団長	25
18.階級別年齢別団員数	26
19.階級別勤続年数別団員数	27
20.消防団員数及び配置状況	28
21.職業別団員数	28
22.分団別消防機械器具配置状況	29
23.分団別消防用ホース配置状況	29
24.消防団施設一覧	30
25.消防団車両配置状況	31
26.消防団員出動状況	32
27.消防団員火災出動状況	32

IV 予 防

28.防火対象物及び立入検査実施状況	33
29.建築確認申請状況	34
30.防火管理者選任及び消防計画届出状況	35
31.中高層防火対象物調	36
32.用途別消防用設備等の設置状況	37
33.危険物施設数及び立入検査実施状況	38
34.危険物施設の許認可・検査・承認・届出状況	38
35.火薬類貯蔵施設及び保安検査・立入検査実施状況	39
36.火薬類許可・届出処理件数	39
37.予防関係諸届出状況	39

V 警 防

38.消防力の基準と現有消防力の比較	40
39.消防吏員出動状況	40
40.消防本部・署車両配置状況	41
41.消防資器材保有状況	42
42.消防水利地区別配置状況	43
43.消火栓管径別状況	43
44.消防相互応援協定等締結状況	44

VI 通信・指令

45.通信指令系統図（有線）	47
46.通信指令系統図（無線）	48
47.通信指令施設一覧	49
48.消防救急無線局一覧	50
49.災害通報入電状況	52
50.病院情報提供状況	52
51.気象観測状況	53

VII 火 災

52.令和5年の火災の実態	54
53.火災統計総括表	55
54.火災の概況	57
55.出火原因別火災件数・損害額	58
56.地区別火災発生状況と損害額	59
57.火災覚知別件数	59
58.曜日別出火件数	60
59.時間別出火件数	60
60.初期消火器具等使用状況	61
61.建物用途別出火状況	61
62.消防署火災出動状況	62
63.過去の火災発生件数及び損害額	63
64.名取市の主な火災	65

VIII 救急・救助

65.令和5年の救急・救助概要	67
66.救急統計総括表	68
67.救急月別・事故別出場件数及び搬送人員	70
68.地区別救急出場件数	72
69.事故別救急出場件数及び搬送人員	72
70.事故別傷病程度状況（医療機関搬送分のみ）	73
71.事故別・曜日別救急出場件数	73
72.事故別・年齢別救急搬送人員状況	74
73.時間別救急出場件数	75
74.市町村別傷病者搬送先状況	75
75.発生場所別搬送人員	75
76.不搬送別状況	76
77.病院収容所要時間別搬送人員	76
78.救急隊員の行った応急処置（特定行為等）	77
79.救急隊別出場件数	78
80.救急業務発足以来の救急出場推移	78
81.応急手当普及啓発活動状況	78
82.月別救助出場状況及び救助人員	79
83.救助完了時間別状況	80
84.救助業務過去10年間の救助出場推移	80

IX 消防協力団体

85.消防協力団体の概要	81
86.名取市防火協力会連合会	82
87.外郭団体	82
88.名取市女性防火クラブ連絡協議会	83
89.幼年消防クラブ	83

I 市勢概要



名 取 市 章

(昭和 34 年 10 月 1 日制定)

名取の名を図案化し、新名取市の融和と発展を表徴したものである。



名取市マスコットキャラクター

『カーナくん』

(平成 20 年 10 月)

東北有数の生産量を誇る「カーネーション」、名取市の頭文字「N」を衣装に組み入れカーネーションの「カー」と名取市の「ナ」で「カーナくん」と名付けられたものである。



仙台せり応援
マスコットキャラクター

『セリーナちゃん』

(令和 3 年 5 月)

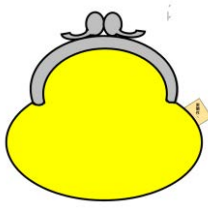
名取市特産品の「仙台せり」から「せり」と名取市の「な」の字から名付けられた。

せりの葉っぱのギザギザをイメージした髪型、収穫の際に着用する胴長を着用し、胸元には「せり」の「S」のロゴ、根っこの白さや形を意識したスカート、出荷時に巻いているビニタイをベルトとして巻いている。

1. 名取市消防本部の統計概要

(基準日：令和6年4月1日 ただし、火災等の災害統計は令和5年中)

市 内 面 積	人 口 ・ 世 帯 数	署 所 数	職 員 数
 98.18 km²	 人 口 79,665 人 世帯数 33,628世帯	 消防本部 1 消 防 署 1 出 張 所 3	 定数 109 人 現有 114 人

消 防 団 員 数	消 防 予 算	消 防 車	救 急 車 等
 定数 400 人 現有 361 人	 1,653,264 千円	 タンク車 5 台 ポンプ車 2 台 化 学 車 1 台	 救 急 車 4 台 救助工作車 1 台

火 災 件 数	救 急 件 数	救 助 件 数	119 番 通 報 件 数
 17 件	 3,892 件	 39 件	 5,764 件

消 防 水 利	防 火 対 象 物 数	危 険 物 施 設 数	消 防 協 力 団 体
 消 火 栓 1,323基 防火水槽 203基 そ の 他 28基	 2,266 件	 281 件	 名取市防火協力会 連合会他 3団体

2. 名取市の概要

名取市は、宮城県のほぼ中央に位置し、名取川・阿武隈川の両水系に囲まれた肥沃な土地が広がり、北側を仙台市、南側を岩沼市、西側を村田町と隣接し、東側に太平洋を臨む。市域面積は98.18km²で、東西約15km、南北約8kmと東西に細長く、地形的な特徴から丘陵部、平野部、海浜部に大きく区分される。

丘陵部は、一部が宮城県自然環境保全地域、緑地環境保全地域に指定されるなど自然環境に恵まれ、北部と南部には潤いのある新市街地が形成されている。平野部は、南北にJR東北本線、幹線道路となる国道4号線が走り、その交通網に沿って中心市街地が形成され、それを囲むように肥沃な農地が広がっている。海浜部は、貞山運河、閑上海岸等の水辺に親しめる空間とともに、閑上漁港や、民営化された東北の空の玄関口である仙台国際空港を抱える。

交通網は、丘陵部及び丘陵部から沿岸部にかけて高速自動車道が走り、JR名取駅から仙台空港を軌道で結ぶ仙台空港アクセス鉄道が平成19年3月に開業するなど、広域交流を実現させる環境を整えてきた。

都市計画は、市全域が仙塩広域都市計画区域内にあり、中心部の増田、名取が丘地区等の一帯と閑上地区、新市街地として整備された丘陵部の相互台、那智が丘、ゆりが丘、みどり台、愛島台、愛の杜、愛島郷が市街化区域として指定され、更に、仙台空港アクセス鉄道沿線に杜せきのした、美田園地区の開発など、名取の新しい都市づくりが進められてきた。

消防体制は、1本部1消防署3出張所の常備消防と1消防団6分団の非常備消防が両輪となって市民の安全・安心を守っているが、近年の急速な社会情勢の変化もあり、施設・機械器具・組織体制等、消防力の充実強化が求められてきた。

そのような中、平成23年の東日本大震災では本市も甚大な被害を受け、特に沿岸部は津波により壊滅的な被害を受けた。日本全国、更には世界中からの支援を受けながら一步步復興の歩を進め、平成31年4月には被災した閑上地区の閑上出張所及び消防団施設が復旧し運用を開始したほか、令和2年3月30日には名取市復興達成宣言がなされ、令和2年度を初年度とする第六次長期総合計画が新たにスタートしている。また、老朽化が著しい手倉田出張所は、令和6年度中の移転開所に向けて、改築事業を進めているところである。

我々消防も、令和5年12月に職員定数条例の改正により増員し、更なる消防力の充実強化を図り、住民がより一層、安心安全に暮らせるまちづくりに邁進する。

3. 名取市の位置・管内図



管内図（消防機関等配置図）



4. 名取市の世帯数・人口・市域面積の変遷

年 次	世帯数	人 口			市域面積 (km ²)	摘 要
		男	女	計		
昭和 3 0 年	5,228	16,133	16,833	32,966	100.60	10.1 国勢調査人口
4 0 年	6,563	16,604	17,601	34,205	100.70	〃
5 0 年	11,224	22,959	23,773	46,732	100.75	〃
6 0 年	13,123	25,220	25,675	50,895	100.64	〃
平成 2 年	14,799	26,422	27,313	53,735	100.64	〃
7 年	18,294	30,589	31,404	61,993	100.07	〃
1 2 年	21,039	33,041	34,175	67,216	100.06	〃
1 7 年	22,583	33,750	34,912	68,662	100.06	〃
2 2 年	25,124	35,578	37,556	73,134	100.07	〃
2 7 年	27,529	37,577	39,091	76,668	98.17	〃
令和 2 年	29,739	38,567	40,151	78,718	98.17	〃
令和 6 年	33,628	39,117	40,548	79,665	98.18	4.1 現在

(令和 6 年 4 月 1 日現在)

消防職員一人当たり	世 帯 数	人 口	面 積
	294.98 世帯	698.80 人	0.86km ²

※令和 6 年 4 月 1 日の統計を職員数 114 人で除しています。

Ⅱ 総 務



5. 名取市消防本部の沿革

年 月	内 容	備 考
昭和 34. 11 12	・ 消防ポンプ自動車1台、職員3人で消防団常備部開設 ・ 職員5人採用（増員）	閑上地区に分遣所開設
昭和 35. 7	・ 職員2人採用（増員）	
昭和 38. 1	・ 職員1人採用（補充）	
昭和 39. 12	・ 職員2人採用（増員）	
昭和 40. 11 12	・ 国道4号線仙台バイパス沿いに消防庁舎完成 ・ 消防ポンプ自動車1台増車 ・ 職員2人採用（増員）	旧庁舎
昭和 41. 4	・ 消防団常備部を廃止し、政令指定を待たず、市独自で消防本部及び消防署設置（消防本部は市役所に置く） ・ 職員1人採用（増員）	
昭和 42. 12	・ 消防署に無線局開設	基地局1、移動局1
昭和 43. 11	・ 救急自動車配置、救急業務開始 ・ 職員2人採用（増員）	生保協会より寄贈
昭和 44. 4 10	・ 消防庁告示、消防本部・消防署設置について政令指定を受ける ・ 職員2人採用（増員） ・ 消防本部を消防庁舎に移転	
昭和 46. 3 4	・ 消防ポンプ自動車増車 ・ 職員2人採用（増員）	
昭和 47. 4 11	・ 職員5人採用（増員） ・ 化学消防ポンプ自動車配置 ・ 指令車配置	
昭和 48. 3 4 12	・ 仙台空港事務所、岩沼市、名取市で「仙台空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定」締結 ・ 仙台市外7市長等及び塩釜地区消防事務組合管理者と相互応援協定締結 ・ 職員3人採用（増員） ・ ナロー化による救急無線設置	
昭和 49. 1 2 3 4 12	・ パトロール車配置 ・ 消防ポンプ自動車増車 ・ 閑上分遣所庁舎完成 ・ 職員5人採用（増員4人、補充1人） ・ 閑上分遣所を閑上出張所に改組	
昭和 50. 4 12	・ 手倉田出張所開設 ・ 職員6人採用（増員） ・ 水槽付消防ポンプ自動車配置	
昭和 51. 7	・ 広報車配置	日本消防協会より寄贈
昭和 53. 4	・ 職員3人採用（増員）	実員45人
昭和 55. 2 4	・ 救急自動車増車 ・ 職員2人採用（増員）	生保協会より寄贈 実員47人
昭和 56. 4	・ 職員2人採用（増員）	実員49人

年 月	内 容	備 考
昭和 57. 4 5 12	・職員3人採用（増員） ・仙台市ガス事業管理者、名取市農業協同組合、名取市消防本部で「ガス災害対策に関する事業協定」締結 ・救助工作車配置	実員52人
昭和 58. 4	・職員4人採用（増員3人、補充1人）	実員55人
昭和 59. 2 4	・救助訓練塔本棟完成 ・職員2人採用（増員）	実員57人
昭和 60. 4 9 11	・職員2人採用（増員） ・消防庁舎改築に着工 ・広報車増車（防火号）	実員59人 防火協会より寄贈
昭和 61. 6 8	・消防庁舎竣工（訓練塔副塔を含む） ・資機材運搬車配置（トラック） ・消防救急指令装置設置（Ⅰ型）	宮城日産より寄贈 気象観測装置を含む
昭和 62. 4 7 12	・職員2人採用（補充） ・省令に基づく救助資機材整備 ・消防団緊急伝達システム親局設置	救助隊設置法制化 本部
昭和 63. 4 7 10 11	・特別救助隊設置（省令第4条） ・県内3市、4広域消防本部で「東北自動車道宮城県消防相互応援協定」締結 ・水槽付消防ポンプ自動車増車（Ⅱ型） ・仙台市、仙南地域広域行政事務組合消防本部、名取市で「山形自動車道消防応援協定」締結 ・救急無線に県内共通波増設	宮城県立会
平成 1. 4 9	・職員3人採用（増員2人、補充1人） ・宮城県医療情報センターと「救急医療情報検索用端末装置の設置に関する協定」締結	実員61人
平成 2. 2 3 4 12	・救急自動車更新（2 B型） ・査察車増車（軽自動車） ・職員定数条例改正（定数71人） ・職員2人採用（増員） ・水槽車Ⅱ型（5m³）配置	宮城県共済農業協同組合より寄贈 実員63人
平成 3. 4 12	・職員2人採用（補充） ・化学消防ポンプ自動車更新（Ⅱ型）	
平成 4. 2 4	・応急処置範囲拡大のための教育が始まる ・職員4人採用（増員） ・宮城県消防学校へ教官として職員1人派遣 ・宮城県内全消防本部で「広域消防相互応援協定」「広域航空消防応援協定」締結	実員67人
平成 5. 2 4 11	・救急自動車更新（2 B型） ・職員3人採用（増員2人、補充1人） ・機構改革により課制導入（総務警防課、予防課）	宮城県共済農業協同組合より寄贈 実員69人

年 月	内 容	備 考
平成 5. 11 12	・26人乗りマイクロバス増車 ・職員定数条例改正（定数75人）	(株)宇佐美より寄贈
平成 6. 3 4 9	・消防地図検索装置設置 ・仙台市、仙南地域広域行政事務組合消防本部、名取市で「仙台東部道路及び仙台南部道路消防相互応援協定」締結 ・職員4人採用（増員3人、補充1人） ・水槽付消防ポンプ自動車更新（Ⅰ－B型） ・名取市、岩沼市、仙台市、仙台空港事務所で「仙台空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定」締結	実員72人 損保協会より寄贈
平成 7. 2 3 4 7 9 10	・水槽付消防ポンプ自動車更新（Ⅰ－A型） ・手倉田出張所に水槽付消防ポンプ自動車配置 ・閑上7丁目に閑上出張所新庁舎完成（移転） ・消防団緊急伝達システム子局増設 ・宮城県防災ヘリコプター隊員として職員1人派遣 ・閑上出張所に水槽付消防ポンプ自動車配置 ・職員3人採用（増員2人、補充1人） ・岩沼市と「仙台東部道路消防相互応援協定」締結 ・緊急消防援助隊登録（消火隊） ・救助工作車、救助資機材更新 ・防災車、カーゴトレーラー増車	閑上出張所新庁舎 実員74人
平成 8. 2 4	・消防庁舎に展示室開設 ・消防波に全国波増波 ・職員定数条例改正（定数78人） ・職員4人採用（増員2人、補充2人） ・初の救急救命士誕生 ・名取市消防本部発足30周年記念式典開催	実員76人
平成 9. 2 3 4 9 10	・職員定数条例改正（定数83人） ・消防ポンプ自動車更新（C D－Ⅰ型） ・連絡車増車（ジムニー） ・飲料水兼用耐震性貯水槽完成（100m³） ・職員7人採用（増員5人、補充2人） ・資機材搬送車更新 ・水槽付消防ポンプ自動車増車（Ⅰ－A型） ・救急自動車更新（2 B型）	(株)オイルプラント ナトリより寄贈 実員81人 高館出張所用 宮城県共済農業協同組 合連合会より寄贈
平成 10. 1 2 4	・職員定数条例改正（定数88人） ・高館出張所開設、消防団緊急伝達システム子局増設 ・職員4人採用（増員2人、補充2人） ・宮城県消防学校へ教官として職員1人派遣	実員83人
平成 11. 2	・職員定数条例改正（定数90人） ・高規格救急自動車配置、高度救命資機材整備	(財)空港環境整備協会より助成

年 月	内 容	備 考
平成 11. 4 12	・職員4人採用（増員3人、次年度分補充1人） ・エアテント整備	実員87人
平成 12. 4 9	・防火衣上下型導入開始 ・高館出張所に救急自動車配置 ・職員4人採用（増員1人、補充2人、次年度分補充1人） ・名取市救急業務運営委員会設置	実員88人
平成 13. 1 3 4 5	・救急自動車更新（2 B型） ・職員定数条例改正（定数95人） ・宮城県防災ヘリコプター隊員として職員1人派遣 ・職員3人採用（増員1人、補充2人） ・県内消防本部で「宮城県内航空消防応援協定」締結 ・消防本部緊急通信指令装置等検討委員会設置	高館出張所用 実員89人
平成 14. 4 8 11	・職員3人採用（増員3人） ・消火、通報訓練指導車増車（けすぞうくん） ・機構改革により庶務係、設備指導係を指導係、建築設備係に変更する ・市総務部総務課防災係へ職員1人出向	実員92人 日本宝くじ協会より寄贈
平成 15. 3 4	・消防本部通信指令棟竣工 ・消防緊急通信指令施設設置（Ⅱ型） ・消防本部通信指令室運用開始 ・名取市消防本部ホームページ運用開始 ・宮城県消防学校へ教官として職員1人派遣	(財)空港環境整備協会より助成
平成 16. 4 11	・職員2人採用（増員1人、補充1人） ・県内消防本部で「宮城県防災ヘリコプターを使用した大規模特殊災害時における広域航空消防応援に関する協定」締結 ・煙体験用資機材整備（煙体験ハウス、煙発生装置）	実員93人
平成 17. 3 4	・仙台市、名取市、仙南地域広域行政事務組合で「仙台東部道路及び仙台南部道路消防相互応援協定」締結 ・職員2人採用（増員1人、補充1人） ・株式会社高橋新蔵商店と「大規模災害時における傷病者の搬送業務に関する協定」締結	実員94人
平成 18. 3 4	・宮城県防災ヘリコプター隊員として職員1人派遣 ・機構改革により総務警防課から総務課、警防課となる ・市総務部防災安全課防災係へ職員1人出向	
平成 19. 3	・仙南電友会名取支部と「災害発生における消防活動に関する応援協定」締結	
平成 20. 2 3 4	・高規格救急自動車配置、高度救命資機材整備 ・防火号更新（エスティマ） ・職員2人採用（増員2人） ・市総務部防災安全課防災係へ職員1人出向	(財)空港環境整備協会より助成 (株)オイルプラントナトリより寄贈 実員95人

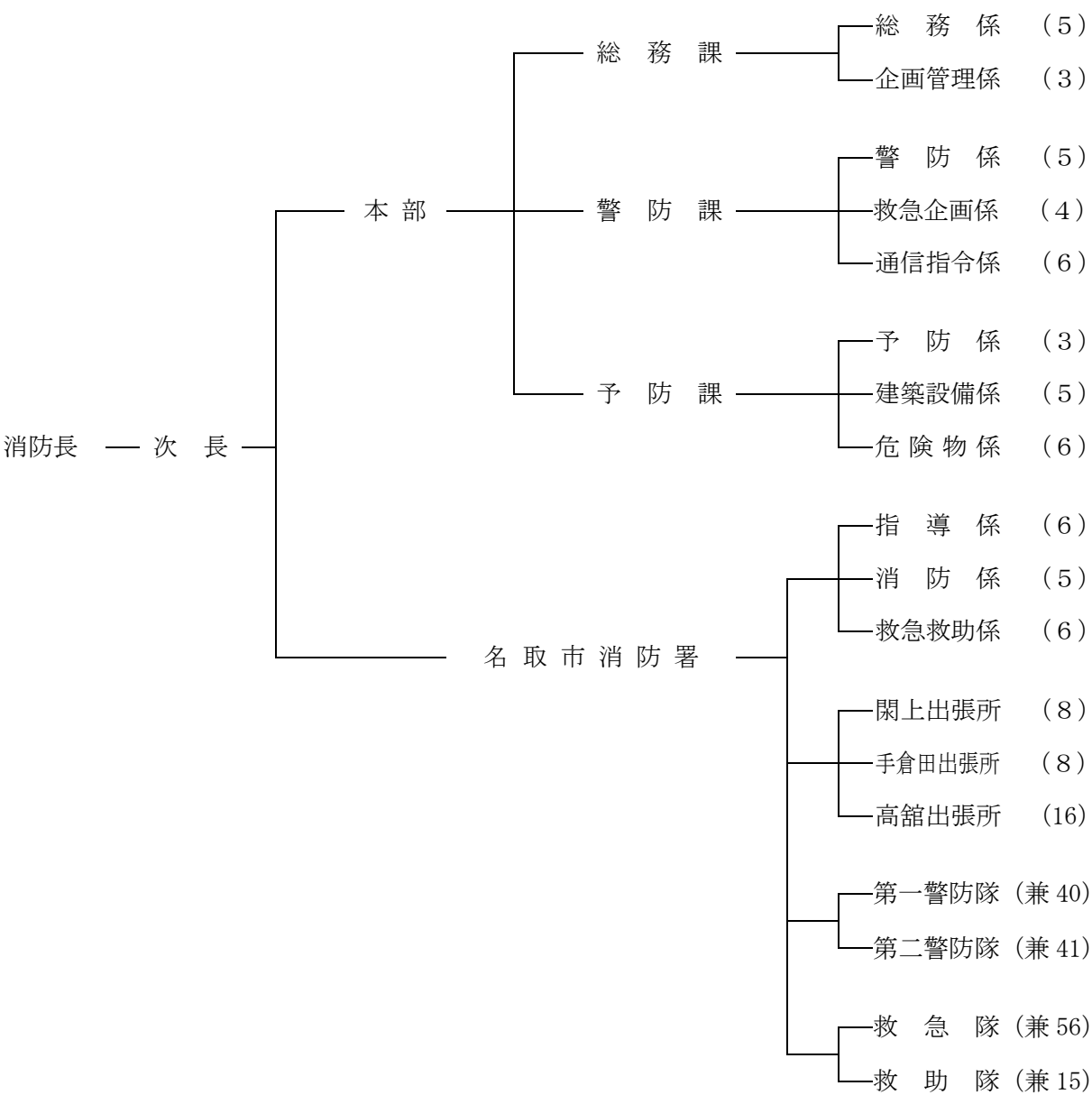
年 月	内 容	備 考
平成 21. 1	・水槽付消防ポンプ自動車更新（Ⅰ－Ａ型）	(財)空港環境整備協会より助成
4	・宮城県消防学校へ教官として職員1人派遣	
11	・高規格救急自動車配置、高度救命資機材整備	
12	・鉄道7社、県内11消防本部で「鉄道災害時における鉄道事業所と消防機関との連携に関する協定」締結	
平成 22. 4	・職員2人採用（補充2人） ・市総務部防災安全課防災係へ職員1人出向	実員94人
平成 23. 3	・3月11日、14時46分三陸沖を震源とするM9.0の東北地方太平洋沖地震が発生し、管内では震度6強を観測 15時52分大津波の襲来により沿岸部は壊滅的な被害を受ける職員3人殉職 閉上出張所全壊、救助訓練塔本塔傾斜 水槽付消防ポンプ自動車1台流失、マイクロバス全壊 活動期間3月11日から5月16日、職員延人員3,061人 震災対応は、火災12件、救急178件、救助93件 救助人員457人、遺体収容331体 ・東日本大震災における受援状況 宮城県広域消防相互応援協定に基づき、仙南地域広域行政事務組合消防本部から受援（延日数23日、延人員104人） 3月11日、消防庁長官の指示により緊急消防援助隊が派遣され 富山県隊、広島県隊、長野県隊から受援（延日数32日、延人員5,708人）	実員93人 愛知県名古屋市消防局より寄贈 (株)ネッツトヨタ仙台名取店より寄贈 鹿児島県妙見温泉振興会より寄贈 神奈川県海老名市消防本部より寄贈 兵庫県伊丹市消防局より寄贈
4	・職員2人採用（補充2人）	
7	・消防職団員殉職者合同慰霊祭を執り行う ・3.11東日本大震災検討委員会設置 ・水槽付消防ポンプ自動車更新（Ⅰ－Ａ型）（被災車両の復旧）	
11	・消防救急デジタル無線及び消防指令センター整備委員会設置 ・連絡車増車（ステージア） ・25人乗りマイクロバス更新（被災車両の復旧）	
12	・消防ポンプ自動車更新（ＣＤ－Ⅰ型） ・高規格救急自動車更新 ・株式会社潜匠と「災害時応援協定」締結	
平成 24. 2	・査察車更新（ミニキャブ）	東京都下水道局より寄贈
4	・職員3人採用（補充3人） ・市総務部防災安全課防災係へ職員1人出向 ・東日本大震災消防活動記録保存業務開始	実員94人

年 月	内 容	備 考
平成 25. 1	・高規格救急自動車更新、高度救命資機材整備	(一財)空港環境整備協会より助成
3	・消防指令センター設置及び消防救急デジタル無線整備 ・消防訓練塔竣工（本塔、副塔） ・高規格救急自動車更新、高度救命資機材整備 ・人員搬送車増車 ・査察車増車（アクティ） ・東日本大震災消防活動記録誌発行 ・宮城県防災ヘリコプター隊員として職員1人派遣	J A 名取岩沼・J A 共済連宮城より寄贈 サントリーホールディングス(株)より寄贈 名取つばさライオンズクラブより寄贈
4	・職員3人採用（補充3人）	実員92名
平成 26. 2	・化学消防ポンプ自動車更新（Ⅱ型）	(一財)空港環境整備協会より助成
4	・職員4人採用（補充4人） ・市総務部防災安全課防災係へ職員1人出向	実員95人
11	・水槽付消防ポンプ自動車更新（Ⅰ－A型）	高館出張所用
平成 27. 2	・救助工作車更新（Ⅱ型）	(一財)空港環境整備協会より助成
4	・職員定数条例改正（定数101人） ・職員4人採用（補充4人）	実員94人
9	・水槽付消防ポンプ自動車更新（Ⅰ－A型）	関上出張所用
11	・市総務部防災安全課防災係へ職員1人出向	
平成 28. 4	・職員5人採用（増員2人、補充3人） ・宮城県消防学校へ教官として職員1人出向	実員96人
12	・消防ポンプ自動車更新（C D－Ⅰ型）	手倉田出張所用
平成 29. 4	・職員7人採用（増員2人、補充5人）	実員98人
平成 30. 1	・高規格救急自動車更新、高度救命資機材整備	
4	・職員5人採用（増員3人、補充2人） ・市総務部防災安全課防災係へ職員1人出向	実員101人
平成 31. 2	・水槽付消防ポンプ自動車更新（水Ⅱ型）	
3	・東日本大震災災害復旧事業完了	
4	・宮城県防災ヘリコプター隊員として職員1人派遣 ・関上出張所開所	
令和 1. 8	・人員搬送車更新（29人乗りマイクロバス）	サントリーホールディングス(株)より寄贈
9	・高規格救急自動車更新、高度救命資機材整備	仙台国際空港(株)より助成
令和 2. 3	・消防力適正配置等調査業務実施	
4	・職員定数条例改正（初任教育中の消防職員は定数外となる） ・職員3人採用（補充3人） ・機構改革により救急企画係増設、消防係と警防係の名称変更	実員101人

年 月	内 容	備 考
令和 2. 4 6 10 12	・救急車4台運用開始 ・消防署手倉田出張所移転検討部会設置（計3回開催） ・宮城県消防指令業務共同運用検討委員会設置 ・宮城県消防指令業務共同運用検討委員会作業部会設置	仙南ブロック
令和 3. 2 4	・消防署手倉田出張所の移転改築について議員協議会開催 ・職員4人採用（増員1人、補充3人） ・市総務部防災安全課防災係へ職員1人出向	実員102人
令和 4. 2 4 8 12	・高規格救急自動車更新、高度救命資機材整備 ・職員6人採用（増員1人、補充5人） ・宮城県消防学校へ教官として職員1人派遣 ・宮城県南部消防連携・協力検討会及び推進委員会設置 ・宮城県南部通信指令事務協議会設置について議決 ・宮城県南部消防連携・協力検討会及び推進委員会解散	仙台国際空港(株)より 助成 実員103人
令和 5. 2 3 4	・高規格救急自動車更新、高度救命資機材整備 ・水槽付消防ポンプ自動車更新（Ⅰ－A型） ・連絡車増車（VOXY） ・市総務部防災安全課防災係へ職員1人出向	仙台国際空港(株)より 助成 手倉田出張所用 (株)オイルプラント ナトリより寄贈
令和 6. 4	・職員定数条例改正（定数109人） ・職員11人採用（増員9人、補充2人）	手倉田出張所移転に伴 う増員等 実員109人

6. 消防本部・消防署の機構

() 内は職員数 (※再任用職員は含まない)、「兼」は兼務職員数 (令和 6 年 4 月 1 日現在)



7. 消防庁舎概要

	所在地	敷地面積	延床面積	構造	竣工年月日
消防本部 消防署	名取市増田五丁目 18 番 32 号	m ² 4,825.18	m ² 1,661.25	鉄筋コンクリート 一部鉄骨 2 階建	S61. 6.10 (東棟 S48.3)
消防本部 通信指令棟	〃	本部敷地内	m ² 180.55	鉄筋コンクリート 平屋建	H15. 3.14
訓練塔	〃	〃	m ² 本塔230.30 副塔144.07	鉄骨造 本塔 5 階 建、副塔 3 階建	H25. 3.29
閑上 出張所	名取市閑上西二丁目 24 番地	m ² 1,800.00	m ² 340.63	鉄筋コンクリート 2 階建	H31. 3.25
手倉田 出張所	名取市手倉田 字諏訪 559 番地の 2	m ² 570.98	m ² 129.60	鉄骨造トタン葺 2 階建	S50. 3.25
高館 出張所	名取市高館熊野堂 字五反田山 11 番地の 150	m ² 1,825.55	m ² 529.81	鉄筋コンクリート 2 階建	H10. 2.26

8. 歴代消防長・次長・署長

年 月 日	消 防 長 (階級：消防監)	次 長 (階級：消防司令長)	署 長 (階級：消防司令長)
昭和 41. 4. 1	七 戸 卓 (助役兼務)	(欠 員)	(欠 員)
41. 9. 1			宮 崎 英 憲
45.10. 1	宮 崎 英 憲 (階級：消防司令長)	加 藤 正 雄	(消防長兼務)
45.11. 5			
46. 4. 1	石 川 次 夫 (助役兼務)	(欠 員)	桑 島 源太郎 (階級：消防司令)
48. 1. 1			
49. 4. 1	伊 藤 豊次郎	太 田 繁 雄	(消防長兼務)
51. 5. 1			
52. 1. 1	洞 口 正 人	(欠 員)	(消防長兼務)
52.10. 1		(欠 員)	(消防長兼務)
53. 4. 1		桑 島 源太郎	(次長兼務)
54. 4. 1		(欠 員)	(消防長兼務)
55.11. 1	百 足 英 夫	斎 藤 秀 雄	伊 東 伝 治
58. 4. 1			庄 司 利 雄
61. 4. 1	今 野 紀 夫	庄 司 利 雄	
62. 4. 1		五十嵐 敏	(次長兼務)
平成 3. 4. 1	今 野 雅 夫		
5. 4. 1	五十嵐 敏	(欠 員)	加 藤 茂 男
7. 4. 1			
9. 4. 1	加 藤 茂 男	山 田 惣 一	齋 藤 昇 吉
11. 4. 1	齋 藤 昇 吉	阿 部 徳 男	高 橋 清
12. 4. 1	阿 部 徳 男	(欠 員)	
13. 4. 1	大 宮 健	高 橋 清	太 田 文 行

年 月 日	消 防 長 (階級：消防監)	次 長 (階級：消防司令長)	署 長 (階級：消防司令長)
平成 15. 4. 1	大 宮 健	高 橋 清	針 生 俊 二
16. 4. 1	高 橋 清	(欠 員)	今 野 新 一
17. 4. 1		針 生 俊 二	
18. 4. 1		太 田 文 行	
21. 4. 1	太 田 文 行	今 野 新 一	大 内 正 勝
22. 4. 1	今 野 三 幸		
23. 7. 1	今 野 新 一	大 内 正 勝	(次長兼務)
25. 4. 1	板 橋 勝 典	板 橋 武 也	(次長兼務)
27. 4. 1	太 田 昇	大 友 敏 春	丹 野 孝 行
28. 4. 1	大 友 敏 春	丹 野 孝 行	(次長兼務)
29. 4. 1	木 皿 正 之	今 野 義 孝	(次長兼務)
30. 4. 1		今 野 幸 雄	(次長兼務)
令和 2. 4. 1	高 橋 隆 一	阿 部 和 幸	(次長兼務)
4. 4. 1	相 澤 文 明	布 田 強	(次長兼務)
5. 4. 1	布 田 強	渡 邊 裕 之	(次長兼務)
6. 4. 1	星 有 二	今 野 裕 之	石 川 康 裕

9. 消防費予算額・決算額状況

(単位：千円)

区 分		令和6年度	令和5年度	対前年比	
		当初予算	当初予算	金額	割合
一般会計総額		34,193,000	33,314,000	879,000	102.6%
消 防 費		1,653,264	1,775,450	△ 122,186	93.1%
内 訳	常備消防費	1,031,659	976,041	55,618	105.7%
	非常備消防費	57,790	55,887	1,903	103.4%
	消防施設費	269,827	591,589	△ 321,762	45.6%
	防 災 費	292,096	150,033	142,063	194.7%
	水 防 費	1,892	1,900	△ 8	99.6%
構 成 比		4.8%	5.3%	△ 0.5%	90.6%

※ 歳出決算額（令和5年度は見込み）

(単位：千円)

年 度		令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
決 算 額		1,257,182	1,283,159	1,113,387	1,169,249	1,068,860
内 訳	常備消防費	973,940	957,459	932,064	879,609	852,011
	非常備消防費	49,157	52,577	51,725	59,204	75,081
	消防施設費	203,455	228,804	80,080	71,029	107,622
	防 災 費	29,976	43,552	49,078	158,809	31,112
	水 防 費	654	767	440	598	3,034
災害復旧費決算額 (消防本部所管分)		—	—	396	—	1,080

10. 消防職員数及び配置状況

(令和6年4月1日現在 単位：人)

区 分		合 計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 職 員	備 考
消 防 本 部	本 部	2	1	1							
	総 務 課	21		1	4	3		1	11	1	
	警 防 課	17		1	5	8		2	1		
	予 防 課	15			4	2	1	4	4		
消 防 署	本 署	21		1	6	5	1	4	4		
	閑上出張所	8			2	2	1	1	2		
	手倉田出張所	8			1	2	1	1	3		
	高館出張所	16			2	4	2	4	4		
出 向 職 員		1				1					宮城県消防学校
小 計		109	1	4	24	27	6	17	29	1	条例定数109人
再 任 用 職 員		5								5	
合 計		114	1	4	24	27	6	17	29	6	

11. 消防職員技術資格取得状況

(令和6年4月1日現在 単位：人)

資 格 名	保有職員数	資 格 名	保有職員数
自動車運転免許（大型）	78	毒 劇 物 取 扱 者	3
自動車運転免許（中型）	4	小型移動式クレーン運転技能者	32
自動車運転免許（準中型）	2	玉 掛 技 能 者	32
自動車運転免許（普通）	23	ガ ス 溶 接 技 士	4
小 型 船 舶 操 縦 士	20	特 定 化 学 物 質 作 業 主 任 者	3
特 殊 無 線 技 士	79	予 防 技 術 検 定 資 格 者	20
危険物取扱者免状（甲種）	3	ア マ チ ュ ア 無 線 技 士	2
危険物取扱者免状（乙種）	77	自 動 車 整 備 士	1
危険物取扱者免状（丙種）	7	防 災 士	5
消 防 設 備 士 （ 甲 種 ）	3	火 薬 類 取 扱 保 安 責 任 者	1
消 防 設 備 士 （ 乙 種 ）	8	電 気 工 事 士	2
衛 生 管 理 者	4	被 災 建 築 物 応 急 危 険 度 判 定 士	3
救 急 救 命 士	25	潜 水 士	3

※ 事務職員1名を含み、再任用職員は含まない。

12. 階級別年齢別職員数

(令和6年4月1日現在 単位：人)

区 分	合 計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 職 員	備 考
合 計	109	1	4	24	27	6	17	29	1	定数109人
満18歳	5							5		
19	2							2		
20	4							4		
21	4							4		
22	4							4		
23										
24	6							6		
25	4							4		
26	1						1			
27	2						2			
28	5						5			
29	4						4			
30	5						5			
31	2					2				
32	1					1				
33	1					1				
34	2					2				
35										
36										
37										
38	1				1					
39	1				1					
40	2				2					
41										
42	5				5					
43	1				1					
44	1				1					
45	6			1	5					
46	4			1	3					
47	6			2	4					
48										
49	4			3	1					
50	4			3	1					
51	6			4	1				1	
52	3			3						
53	2			2						
54										
55	1			1						
56	1				1					
57	2	1	1							
58	3		1	2						
59	4		2	2						
60										
61										
平均年齢	37.6	57.0	58.3	51.5	44.9	32.5	28.6	21.5	51.0	

※ 再任用職員は含まない。

13. 階級別勤続年数別職員数

(令和6年4月1日現在 単位：人)

区 分	合 計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 職 員	備 考
合 計	109	1	4	24	27	6	17	29	1	定数109人
1年未満	12							11	1	
1年～										
2	6							6		
3	4							4		
4	3							3		
5										
6	4						1	3		
7	6						4	2		
8	4						4			
9	3					1	2			
10	4						4			
11	3					1	2			
12	2					2				
13	1					1				
14	1					1				
15										
16	1				1					
17										
18										
19	2				2					
20	2				2					
21										
22	3				3					
23	2				2					
24	4				4					
25	3				3					
26	1				1					
27	7			2	5					
28	4			3	1					
29	3			3						
30	4			4						
31	2			2						
32	3			1	2					
33	2			1	1					
34	1			1						
35	3			3						
36										
37	2		1	1						
38										
39	2	1		1						
40	2		1	1						
41	3		2	1						
42										
43										
44										
平均勤続年数	17.7	39.0	39.8	32.0	24.6	11.8	8.6	2.7	1.0	

※ 再任用職員は含まない。

Ⅲ 消 防 団



14. 名取市消防団の沿革

年 月	内 容	備 考
明治 27. 5 9 11	・増田町消防組（公設）設置 ・館腰村消防組（公設）設置 ・愛島村消防組（公設）設置	
明治 30. 4	・東多賀村消防組（公設）設置	後の閑上町
大正 13.	・下増田村消防組（公設）設置 ・吉田消防組（私設）を高館村消防組（公設）へ移管	
昭和 3. 4	・増田町消防組、自動車ポンプ配置	
昭和 14. 4	・各町村消防組、警防団に改組	
昭和 22. 8	・各町村警防団、消防団に改組	総員766人
昭和 30. 4	・町村合併により名取市消防団発足	
昭和 31.	・宮城県消防協会会長より竿頭綬を受賞	
昭和 32. 2	・宮城県知事より竿頭綬を受賞 ・日本消防協会長より表彰旗を受賞	
昭和 33. 3 9 11	・国家消防本部長より竿頭綬を受賞 ・第1回宮城県消防操法大会出場 ・市制施行により名取市消防団発足	現在の消防庁長官 ポンプ車操法第2位入賞
昭和 34. 8 10	・第2回宮城県消防操法大会出場 ・消防団常備部設置（ポンプ車1台、職員3人）	ホース巻きの部優勝 団員530人
昭和 36. 9	・第4回宮城県消防操法大会出場	
昭和 40. 11	・消防庁舎完成	
昭和 41. 4	・消防団常備部廃止、消防本部・消防署設置 ・増田、閑上分団に自動車部設置	団員480人
昭和 42. 8	・第10回宮城県消防操法大会出場	
昭和 45. 11	・宮城県知事より表彰旗を受賞	
昭和 48. 8	・第16回宮城県消防操法大会出場	
昭和 53. 6	・宮城県沖地震	マグニチュード7.4
昭和 56. 2	・日本消防協会長より竿頭綬を受賞	
昭和 57. 5 7	・宮城県消防協会長より表彰旗を受賞 ・第25回宮城県消防操法大会出場	
昭和 58. 5	・増田分団自動車部を廃止し、館腰分団にポンプ車を配置 ・団本部付部長（ラッパ隊長）を新設	各分団の定数変更
昭和 61. 3 6 8	・消防庁長官より表彰旗を受賞 ・新消防庁舎完成 ・台風10号による集中豪雨 (降水量436mm、り災326世帯1,134人、床上浸水310棟、 床下浸水1,410棟、実施水防工法10箇所)	消防本部と連名 消防団室設置 消防団出動延人員524人
昭和 62. 10 12	・消防無線受令機を各分団長に配置 ・消防団緊急伝達システム親局（消防本部）及び子局設置	増田、閑上分団
平成 1. 3 11	・消防団緊急伝達システム子局設置 ・小型動力ポンプ積載車新規導入（以降順次配備）	愛島、高館分団
平成 2. 3	・消防団緊急伝達システム子局設置	下増田、館腰分団

年 月	内 容	備 考
平成 2. 6 8	・ 消防ポンプ自動車更新（ＣＤ－Ⅰ型） ・ 第33回宮城県消防操法大会出場	関上分団 総合第4位
平成 3. 3 4	・ ポンプ置場改築分より団員詰所の公設始まる ・ 高館分団第2部に2台設置されていたポンプの1台を廃止し、 4人の班長を2人に削減、団本部付け副分団長を新設	各分団の定数変更
平成 5. 3	・ 消防無線受令機を分団長除く部長以上の幹部に配置	
平成 6. 4 6 8 9 10	・ 団本部付分団長導入 ・ 婦人消防団員10人を任命 ・ 消防団旗更新 ・ 9.22集中豪雨 (降水量328mm、り災2,908世帯9,702人、床上浸水946棟、 床下浸水1,736棟、実施水防工法17箇所) ・ 第10回全国婦人消防操法大会出場	夏、冬制服を貸与 消防団出動延人員846人 総合第7位
平成 7. 6	・ 団本部指揮車配置	日本消防協会より寄贈
平成 8. 2	・ 婦人消防団員を本部付けとする	各分団定数変更
平成 9.10	・ ラッパ5台の寄贈を受ける	
平成10. 3	・ 夏作業服、アポロキャップを全団員へ貸与	旧略帽を廃止
平成11. 8	・ 消防団活性化計画等検討委員会設置	委員11人
平成12. 2 3 5 6 7	・ 女性消防団員を広報により公募 ・ 簡易救助資機材各部に配置完了 ・ 消防団活性化計画等検討委員会検討結果報告書提出 ・ 女性消防団員として9人を任命 ・ 部長以上にポケットベル配置 ・ 第41回宮城県消防操法大会出場	
平成13. 3 4 5 8 9	・ 小型動力ポンプを配置した35部すべてに小型動力ポンプ 積載車配置完了 ・ 女性消防団員から女性消防隊に名称を改め隊員を増員 ・ 名取市消防団活性化計画策定 ・ 名取川、阿武隈川下流水防演習実施 ・ 消防団行事訓練検討委員会設置 ・ 女性消防隊員応急手当普及員資格習得	各分団定数変更 国土交通省主催
平成14. 3	・ 班長にポケットベル配置 ・ 消防団車庫詰所を全地区へ配備完了	
平成15. 3	・ 団本部査察広報車配置	日本消防協会より寄贈
平成17. 1 2	・ 幹部申し合わせ事項策定 ・ 班長以上に緊急災害情報メール配信開始 ・ 名取市消防本部ホームページに地区分団紹介を掲載	定年制等 ポケットベル廃止
平成19. 4 8	・ 名取市消防団事業企画運営部会設置 ・ 女性消防隊旗を整備 ・ 女性消防隊の夏、冬制服一式を更新	部員18人
平成20.12	・ 新基準の活動服、編上靴を全団員に貸与	
平成21. 1	・ 名取市消防団協力事業所表示制度実施	

年 月	内 容	備 考
平成 22. 6	・消防団緊急伝達システム廃止（アナログ方式）	災害伝達方法は防災行政無線に移行
10	・救助資機材搭載型小型動力ポンプ付積載車配置	消防庁より無償貸与
平成 23. 3	・3月11日 14時46分三陸沖を震源とするM9.0の東北地方太平洋沖地震が発生し、管内では震度6強を観測 15時52分大津波の襲来により関上分団、下増田分団は壊滅的な被害を受ける 消防団員殉職者16人 消防団施設6棟流失、小型動力ポンプ積載車7台全損 捜索活動延日数14日間、延人員1,576人	
7	・消防職団員殉職者合同慰霊祭を執り行う	
平成 24. 3	・救助資機材搭載型小型動力ポンプ付積載車に更新開始	サントリー(株)より寄贈
11	・小型動力ポンプ付積載車2台更新 ・東日本大震災の津波被害により全損した消防庁無償貸与の車両の再貸与を受ける	平成22年10月貸与車両
平成 25. 3	・消防無線のデジタル化に伴い消防団積載車全車両にデジタル無線機を配置	トランシーバー型無線機
12	・携帯型デジタル簡易無線機を幹部団員、各部に2台配置 ・消防無線のデジタル化に伴い消防団緊急伝達システムを再設置 ・「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」施行	
平成 26. 2	・携帯型デジタル簡易無線機を幹部団員へ配置	サントリー(株)より寄贈
3	・小型動力ポンプ付積載車1台更新 ・救命胴衣を各分団へ貸与	サントリー(株)より寄贈 消防団員公務災害補償等共済基金より寄贈
4	・出動手当の見直しを実施	
5	・名取川、阿武隈川下流総合水防演習	国土交通省主催
平成 27. 3	・小型動力ポンプ付積載車2台更新	サントリー(株)より寄贈
4	・携帯型デジタル無線機を副分団長以上幹部全員へ配置 ・ラッパ隊制服を更新	
平成 28. 1	・防寒服、耐切創性手袋を全団員へ貸与	女性消防隊員除く
2	・小型動力ポンプ付積載車1台更新 ・救命胴衣を全団員へ貸与 ・拡声器を分団各部へ配置	女性消防隊員除く
3	・小型動力ポンプ付積載車1台更新（救助資機材搭載型）	サントリー(株)より寄贈
7	・第49回宮城県消防操法大会出場	総合8位
10	・救助用半長靴を全団員へ貸与 ・防塵メガネ、防塵マスクを全団員へ貸与	女性消防隊員除く
平成 29. 3	・小型動力ポンプ付積載車1台更新	サントリー(株)より寄贈
4	・団員資格に「(本市に)勤務し、又は通学するもの」を追加	条例改正
10	・保護帽を全団員へ貸与 ・避難誘導棒を分団各部へ配置	

年 月	内 容	備 考
平成 29. 11 12	・ 学生消防団員1人を任命 ・ 東日本大震災に伴い、関上分団の再編に係る各分団の定員見直し	各分団定員変更
平成 30. 1 2 3 5 12	・ 幹部会申し合わせ事項改正 ・ 名取市学生消防団活動認証制度実施要綱施行 ・ 小型動力ポンプ付積載車1台更新 ・ 日本消防協会長より表彰旗を受賞 ・ 小型動力ポンプ付積載車1台更新 ・ 第13回東北水防技術競技大会出場 ・ 消防団活動車更新	定年制等整理 サントリー(株)より寄贈 最優秀賞受賞 (公財)日本消防協会より寄贈
平成 31. 2	・ 小型動力ポンプ付積載車2台更新 ・ 小型動力ポンプ付積載車2台を災害復旧	救助資機材搭載型1台
令和 1. 7	・ 消防団安全管理マニュアル策定	
令和 2. 3 7 10 12	・ 小型動力ポンプ付積載車2台更新 ・ トランシーバーを団本部へ配置 ・ 油圧切断機及びジャッキを各分団へ配置 ・ 名取市消防団災害対応基本計画策定 ・ 各水防倉庫へチェーンソー及び照明器具を配置 ・ 全ての部へ照明器具の配置を完了 ・ 団幹部及び各部5着の防火衣一式（防火衣、防火帽、しころ）を更新 ・ 防火手袋を全団員へ貸与	救助資機材搭載型1台
令和 3. 2 4 11	・ 小型動力ポンプ付積載車2台更新 ・ 宮城県消防協会 名取地区支部、亘理地区支部の統合による「宮城県消防協会名取・亘理地区支部」設立 ・ 各部2着の防火衣一式（防火衣、防火帽、しころ）を更新	
令和 4. 3 4 7	・ 小型動力ポンプ付積載車3台更新 ・ 条例定数改正、出動報酬の創設、機能別団員制度を導入 ・ 機能別団員2人を任命 ・ 名取市協働提案採択「消防団を知ってもらい隊」事業開催	定数400人へ改正
令和 5. 1 2 3 6 12	・ 小型動力ポンプ付積載車1台更新 ・ 小型動力ポンプ付積載車2台更新 ・ 団本部、増田、関上、下増田分団の活動服を更新 ・ 消防団幹部夏制服を更新 ・ 館腰、愛島、高館分団の活動服を更新	
令和 6. 3	・ 小型動力ポンプ付積載車3台更新	

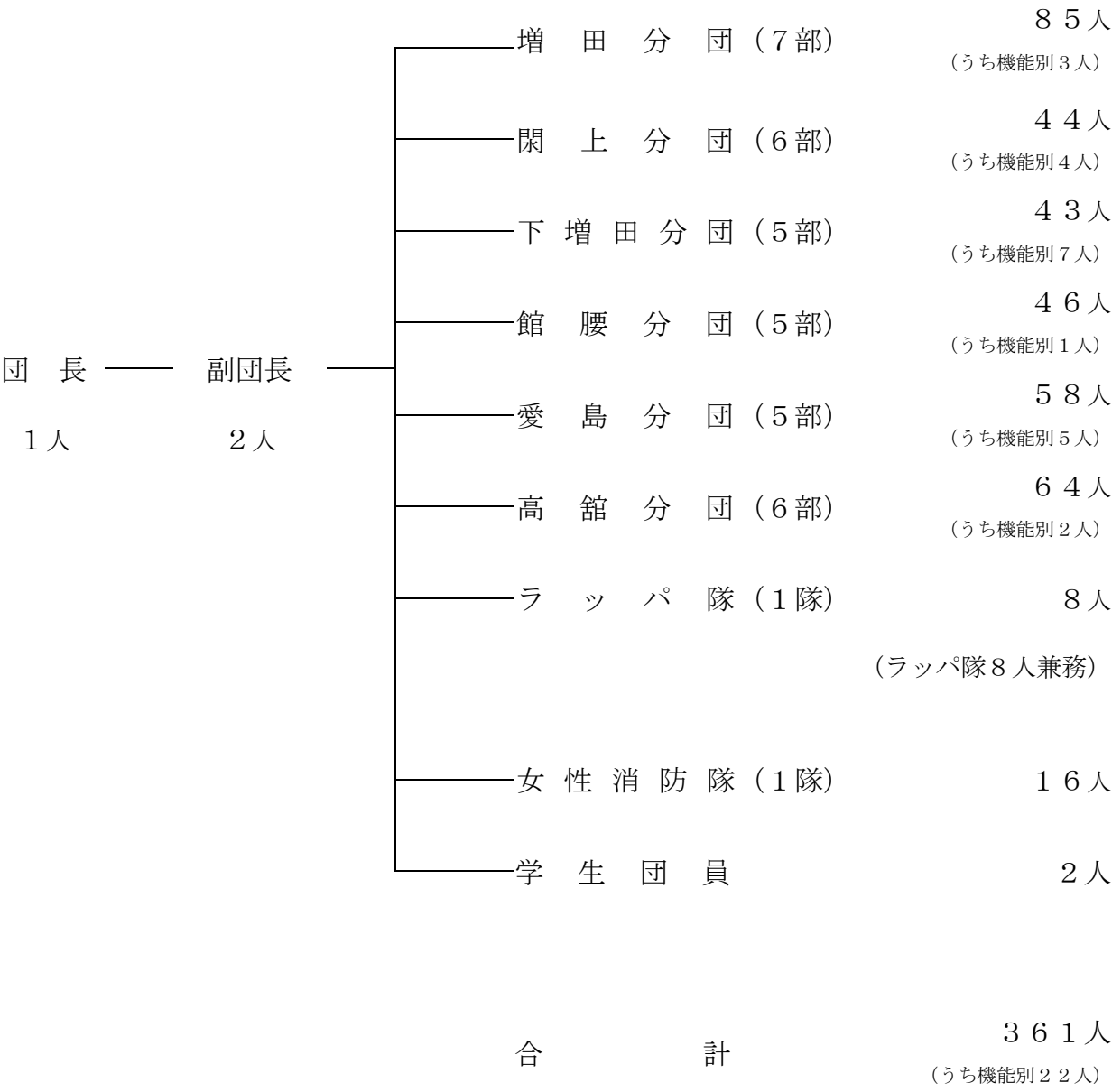
15. 消防団主要行事

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

月 日	行 事 名	内 容	開 催 場 所
6. 10	名 取 市 総 合 防 災 訓 練	下増田分団による火災防ぎょ訓練を実施する。(22 人参加)	名 取 市 立 下 増 田 小 学 校
6. 25	水 防 訓 練	出水期を迎え水防技術を確認し水防体制に万全を期す。(78 人参加) 主催は消防協会名取・亘理地区支部	高 舘 熊 野 堂 河 川 敷
8. 12	なとり夏まつり 特 別 警 戒	なとり夏まつりに伴い、火災や観客等の事故防止を図る。(33 人参加)	閑 上 地 区
10. 8	応用小型ポンプ 操 法 講 習 会	増田、閑上、下増田分団を対象に応用小型ポンプ操法の技術習得を図る。(97 人参加)	名 取 市 役 所 駐 車 場
10. 29	災害出動研修会	館腰、愛島、高舘分団を対象に消防団活動に必要な技術及び安全管理の習得を図る。(116 人参加)	高 舘 熊 野 堂 河 川 敷
11. 9 ～ 11. 15	秋 季 火 災 予 防 運 動	秋季における防火広報を実施し、火災予防と住民の防火意識高揚を図る。	市 内 各 地 区
11. 12	連 合 演 習	他市の消防団と諸制式の習熟を図り、部隊行動を軽快にし、消防諸般の基礎を作る訓練を合同で行い大規模災害時に備え連携力強化を図る。(224 人参加) 主催は宮城県消防協会名取・亘理地区支部	高 舘 河 川 グ ラ ウ ン ド
1. 7	名 取 市 消 防 式 出 初 式	年頭にあたり、本市消防本部・消防団及び消防関係機関が一堂に会し、市民の安心・安全を願い、消防関係者の1年の安全と士気を高めることを誓い合う。(265 人参加)	名 取 市 役 所 駐 車 場
2. 25	消防団班長以上 幹 部 研 修 会	消防団幹部としての意識向上や知識習得を目的とした研修を実施する。 令和5年度は「消防団組織再編」「機能別団員」について研修を実施。(103 人参加)	名 取 市 文 化 会 館
3. 1 ～ 3. 7	春 季 火 災 予 防 運 動	春季における防火広報を実施し、火災予防と住民の防火意識高揚を図る。	市 内 各 地 区

16. 消防団の機構及び人員

(令和 6 年 4 月 1 日現在)



17. 歴代消防団長・副団長

年 月 日		団 長	副 団 長		
昭和	30. 4. 1	日地谷 栄 一	渡 辺 六之助	齋 政 治	
	34. 4. 1			川 島 芳 男	
	38. 4. 1			相 沢 春 吉	
	40. 7. 3	(欠 員)			
	40. 8. 1	高 橋 捨 蔵			
	42. 4. 1	川 島 芳 男	(欠 員)	小 林 兵 吉	
	46. 1. 18		伊 深 喜代治		
	46. 4. 1		伊 深 喜代治	星 直 志	
	50. 4. 1	遠 藤 忠 児			
	54. 4. 1	星 直 志	立 花 寛	庄 司 勇	
	56. 8. 21		(欠 員)		
	56. 10. 1		相 沢 秀 夫		
	60. 10. 1		今 野 治 郎		
	62. 4. 1	今 野 治 郎	武 田 忠 男	庄 子 昭	
	平成		3. 4. 1		高 橋 慎次郎
7. 4. 1		庄 子 昭	大 友 章	今 野 栄 次	
9. 4. 1		大 友 章	針 生 幸 作		
11. 4. 1			針 生 幸 作	佐 伯 勇 治	
13. 4. 1		針 生 幸 作		高 橋 清太郎	
15. 4. 1			今 野 市 郎	庄 子 彰 悦	
17. 4. 1		今 野 市 郎		丹 野 善 雄	昆布谷 清太郎
21. 4. 1		昆布谷 清太郎	猪 股 富 男	松 浦 岩 男	
25. 4. 1		猪 股 富 男	松 浦 岩 男	根 元 勝 治	
27. 4. 1		松 浦 岩 男	根 元 勝 治	松 浦 泰 信	
31. 4. 1		松 浦 泰 信		斎 藤 巖	
令和		5. 4. 1	根 元 勝 治	斎 藤 巖	萱 場 善 浩

18. 階級別年齢別団員数

(令和6年4月1日現在 単位：人)

区 分	合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
合 計	361	1	2	6	6	35	68	243
満18歳								
19								
20								
21	2							2
22	1							1
23	1							1
24	2							2
25								
26	2							2
27	1							1
28	1							1
29	1							1
30	1							1
31	4							4
32								
33	4							4
34	2							2
35	6							6
36	7							7
37	9						1	8
38	5							5
39	9						2	7
40	8							8
41	7							7
42	21					1	4	16
43	12					2		10
44	20						4	16
45	17						2	15
46	19					1	4	14
47	19					3	6	10
48	18				1	2	6	9
49	18					2	9	7
50	15			1		2	6	6
51	19				1	3	4	11
52	11			1		1	1	8
53	9					2	4	3
54	13				1	2	5	5
55	5					2	1	2
56	9			1		4	1	3
57	5						1	4
58	7				1	1	2	3
59	5						1	4
60	9		1	1		3		4
61	8				1	1	2	4
62	6	1		1	1	1		2
63	2							2
64	2			1			1	
65	5							5
66	2							2
67	7		1			2		4
68	2						1	1
69	1							1
70	1							1
71								
72	1							1
平均年齢	47.9	62.0	63.5	57.3	55.7	53.1	49.7	46.0

19. 階級別勤続年数別団員数

(令和6年4月1日現在 単位：人)

区 分	合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
合 計	361	1	2	6	6	35	68	243
1年未満	15							15
1年～	12							12
2	16							16
3	8							8
4	15						1	14
5	6							6
6	23						1	22
7	17						1	16
8	8						1	7
9	17						1	16
10	12						3	9
11	16					1	1	14
12	13					1	2	10
13	9						3	6
14	19					1	7	11
15	18				1	3	4	10
16	13					2	5	6
17	11					2	4	5
18	7					2	3	2
19	11				1		7	3
20	12					3	5	4
21	11					4	5	2
22	13					3	2	8
23	6					1	2	3
24	8					2	2	4
25	9				1	2	2	4
26	3			2			1	
27	7				1	2	3	1
28	3							3
29	6			2	1	2	1	
30	2					2		
31	2		1			1		
32								
33	4					1		3
34	3				1			2
35	1			1				
36								
37								
38	1			1				
39	1		1					
40	2	1					1	
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47	1							1
48								
49								
50								
平均勤続年数	13.6	40.0	35.0	30.5	24.8	21.5	17.6	10.4

20. 消防団員数及び配置状況

(令和6年4月1日現在 単位：人)

区 分		団 長 (定数) (1)	副 団 長 (2)	分 団 長 (6)	副 分 団 長 (6)	部 長 (35)	班 長 (70)	団 員 (280)	合 計 (400)
団 本 部	実 員	1	2			1	2	15	21
	うち女性消防隊					1	2	13	16
	うち学生団員							2	2
増 田 分 団	実 員			1	1	7	14	62	85
	うち機能別団員							3	3
閑 上 分 団	実 員			1	1	6	11	25	44
	うち機能別団員							4	4
下増田分団	実 員			1	1	5	10	26	43
	うち機能別団員							7	7
館 腰 分 団	実 員			1	1	5	9	30	46
	うち機能別団員							1	1
愛 島 分 団	実 員			1	1	5	10	41	58
	うち機能別団員							5	5
高 館 分 団	実 員			1	1	6	12	44	64
	うち機能別団員							2	2
合 計	実 員	1	2	6	6	35	68	243	361
	うち機能別団員							22	22

21. 職業別団員数

(令和6年4月1日現在 単位：人)

職 業 構 成	国 家 公 務 員	1	就 業 形 態	被 用 者	260
	地 方 公 務 員	7		自 営 業 者	79
	特殊法人等公務員に準ずる職員	14		家 族 ・ 従 業 員	7
	日 本 郵 政 グ ル ー プ	3		そ の 他	15
	そ の 他	336		うち 学 生	2
	合 計	361		合 計	361

22. 分団別消防機械器具配置状況

(令和6年4月1日現在)

消防機械器具 \ 分 団 名	本部	増田	閑上	下増田	館腰	愛島	高館	合計
小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	1	7	6	5	5	5	6	35
うち救助資機材搭載型		1	1	1	1	1	1	6
背 負 い 式 消 火 水 の う	3	14	12	17	10	25	31	112
拡 声 器	1	7	6	5	5	5	6	35
簡 易 救 助 資 機 材 (一 式) (折込のこぎり・平バール・万能斧・大ハンマー・ジャッキ・ボルトカッター ヘッドランプ・資機材収納バック)	1	7	6	5	5	5	6	35
油 圧 切 断 機		7	6	5	5	5	6	34
投 光 器 (一 式) (発電機・サーチライト・三脚・コードリール)		7	6	5	5	5	6	34
ト ラ ン シ ー バ ー	83							83

23. 分団別消防用ホース配置状況

(令和6年4月1日現在 単位：本)

部 別 \ 分 団 名	本 部	増 田	閑 上	下増田	館 腰	愛 島	高 館
第 1 部		16	15	15	15	15	15
第 2 部		15	16	15	15	15	16
第 3 部		15	15	15	15	15	16
第 4 部		16	15	15	15	15	15
第 5 部		15	15	15	15	15	15
第 6 部		15	15				15
第 7 部		15					
予 備 車	8						
合 計	8	107	91	75	75	75	92

【総計 523 本】

24. 消防団施設一覧

(令和6年5月1日現在)

所 属		小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車 車 庫		火 の 見 櫓 ホ ー ス 乾 燥 塔	
分 団	部	所 在 地	建築年月		
増 田	1	名取市増田一丁目745	H13. 3	コンクリートボ ール	H 2. 11
	2	名取市増田四丁目4-21 (詰所併設)	H 6. 12	コンクリートボ ール	H 6. 12
	3	名取市手倉田字諏訪559-2 (詰所併設)	S61. 12	コンクリートボ ール	H18. 11
	4	名取市田高字神明187-1	H 3. 11	鋼製ボ ール	H27. 12
	5	名取市上余田字千刈田8 (詰所併設)	H11. 3	鋼製ボ ール	H24. 11
	6	名取市下余田字飯塚502-1	H10. 2	コンクリートボ ール	H10. 2
	7	名取市杜せきのした一丁目8-11	H22. 7	コンクリートボ ール	H22. 7
閑 上	1	名取市高柳字圭田250-3 (詰所併設)	H12. 3	コンクリートボ ール	H12. 3
	2	名取市大曲字中小路29 (詰所併設)	H11. 2	コンクリートボ ール	H11. 2
	3	名取市牛野字内海235-4 (詰所併設)	H 4. 3	鋼製ボ ール	H25. 12
	4	名取市小塚原字西中塚359-3 (詰所併設)	H28. 5	鋼製ボ ール	H28. 5
	5	名取市閑上西一丁目15-1、15-2 (詰所併設)	H31. 3	鋼製ボ ール	H31. 3
	6	名取市閑上中央二丁目21-1 (詰所併設)	H31. 2	鋼製ボ ール	H31. 2
下増田	1	名取市下増田字前田50	H24. 10	コンクリートボ ール	H24. 3
	2	名取市美田園五丁目7-2、7-3、7-4 (詰所併設)	H29. 3	鋼製ボ ール	H29. 3
	3	名取市下増田字土手西15 (詰所併設)	H10. 2	コンクリートボ ール	H10. 2
	4	名取市杉ヶ袋字尻田村9-3	H26. 11	鋼製ボ ール	H26. 11
	5	名取市美田園北9-11	H29. 3	鋼製ボ ール	H29. 3
館 腰	1	名取市飯野坂四丁目390-4 (詰所併設)	H 9. 3	コンクリートボ ール	H 9. 3
	2	名取市植松一丁目254-1 (詰所併設)	H13. 3	コンクリートボ ール	H13. 3
	3	名取市植松四丁目7 (詰所併設)	H27. 2	鋼製ボ ール	H27. 2
	4	名取市本郷字矢口44	H 7. 3	鉄骨 3 脚	S62. 3
	5	名取市堀内字鶴1-1	H 6. 3	鋼製ボ ール	H28. 12
愛 島	1	名取市愛島北目字竹の内69-1	R 6. 4	鋼製ボ ール	R 6. 4
	2	名取市愛島笠島字東蔵神37-1 (詰所併設)	H 9. 3	コンクリートボ ール	H 9. 3
	3	名取市愛島笠島字鳥井崎60-1 (詰所併設)	H 6. 3	コンクリートボ ール	S62. 3
	4	名取市愛島小豆島字宇賀崎332 (詰所併設)	H12. 3	コンクリートボ ール	H12. 3
	5	名取市愛島塩手字野田山11-1	H 8. 3	コンクリートボ ール	H 8. 3
高 館	1	名取市高館吉田字宮神明212-1	H12. 1	コンクリートボ ール	H11. 11
	2	名取市高館吉田字長六反124-1 (詰所併設)	H 8. 3	コンクリートボ ール	H 8. 3
	3	名取市高館川上字五性寺52 (詰所併設)	H 4. 10	コンクリートボ ール	S58. 3
	4	名取市高館川上字台52-1	H 9. 3	コンクリートボ ール	不 明
	5	名取市高館熊野堂字土手下195 (詰所併設)	H14. 3	コンクリートボ ール	H14. 3
	6	名取市高館熊野堂字余方上西15-2	H 2. 11	鋼製ボ ール	R 1. 8

25. 消防団車両配置状況

(令和6年4月1日現在)

区 分	車 両 名	年 式	車両メーカー	排気量cc	ポンプ級別
本 部	指 揮 広 報 車	H15	ニ ッ サ ン	1,760	
本 部	消 防 団 活 動 車	H30	ミ ツ ビ シ	2,350	
本 部 予 備 車	小型動力ポンプ付積載車	H13	ダ イ ハ ツ	650	B-3
増 田 1 部	小型動力ポンプ付積載車	R 6	ダ イ ハ ツ	650	B-3
増 田 2 部	小型動力ポンプ付積載車	H29	ダ イ ハ ツ	650	B-3
増 田 3 部	小型動力ポンプ付積載車	H13	ダ イ ハ ツ	650	B-3
増 田 4 部	小型動力ポンプ付積載車	H30	ニ ッ サ ン	1,990	B-3
増 田 5 部	小型動力ポンプ付積載車	R 5	ト ヨ タ	1,990	B-3
増 田 6 部	小型動力ポンプ付積載車	R 3	ト ヨ タ	2,980	B-3
増 田 7 部	小型動力ポンプ付積載車	R 2	ト ヨ タ	2,980	B-3
関 上 1 部	小型動力ポンプ付積載車	R 5	ト ヨ タ	1,990	B-3
関 上 2 部	小型動力ポンプ付積載車	R 4	ト ヨ タ	2,980	B-3
関 上 3 部	小型動力ポンプ付積載車	H31	ニ ッ サ ン	1,990	B-3
関 上 4 部	小型動力ポンプ付積載車	H24	ト ヨ タ	1,990	B-3
関 上 5 部	小型動力ポンプ付積載車	H31	ニ ッ サ ン	1,990	B-3
関 上 6 部	小型動力ポンプ付積載車	H31	ニ ッ サ ン	1,990	B-3
下 増 田 1 部	小型動力ポンプ付積載車	R 4	ト ヨ タ	2,980	B-3
下 増 田 2 部	小型動力ポンプ付積載車	H29	ト ヨ タ	1,990	B-3
下 増 田 3 部	小型動力ポンプ付積載車	R 4	ト ヨ タ	2,980	B-3
下 増 田 4 部	小型動力ポンプ付積載車	H24	ト ヨ タ	1,990	B-3
下 増 田 5 部	小型動力ポンプ付積載車	H28	ト ヨ タ	1,990	B-3
館 腰 1 部	小型動力ポンプ付積載車	R 3	ト ヨ タ	2,980	B-3
館 腰 2 部	小型動力ポンプ付積載車	R 6	ト ヨ タ	1,990	B-3
館 腰 3 部	小型動力ポンプ付積載車	H24	ニ ッ サ ン	2,950	B-2
館 腰 4 部	小型動力ポンプ付積載車	H27	ト ヨ タ	1,990	B-3
館 腰 5 部	小型動力ポンプ付積載車	H27	ト ヨ タ	1,990	B-3
愛 島 1 部	小型動力ポンプ付積載車	R 2	ト ヨ タ	2,980	B-3
愛 島 2 部	小型動力ポンプ付積載車	H25	ト ヨ タ	1,990	B-3
愛 島 3 部	小型動力ポンプ付積載車	H26	ト ヨ タ	1,990	B-3
愛 島 4 部	小型動力ポンプ付積載車	R 6	ト ヨ タ	1,990	B-3
愛 島 5 部	小型動力ポンプ付積載車	H28	ト ヨ タ	1,990	B-3
高 館 1 部	小型動力ポンプ付積載車	R 5	ト ヨ タ	1,990	B-3
高 館 2 部	小型動力ポンプ付積載車	H30	ニ ッ サ ン	1,990	B-3
高 館 3 部	小型動力ポンプ付積載車	H26	ト ヨ タ	1,990	B-3
高 館 4 部	小型動力ポンプ付積載車	H31	ニ ッ サ ン	1,990	B-3
高 館 5 部	小型動力ポンプ付積載車	H22	ト ヨ タ	1,990	B-3
高 館 6 部	小型動力ポンプ付積載車	H24	ト ヨ タ	1,990	B-3

26. 消防団員出動状況

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

区 分	火 災		救助活動		風水害等の災害		演習・訓練等	
	回 数	延人員	回 数	延人員	回 数	延人員	回 数	延人員
消防団員	4	44	0	0	0	0	22	947
構成比(%)	5.1	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	28.2	72.4

区 分	広報・指導		研修・教育		特別警戒		捜 索	
	回 数	延人員	回 数	延人員	回 数	延人員	回 数	延人員
消防団員	15	44	3	6	15	190	0	0
構成比(%)	19.2	3.4	3.9	0.4	19.2	14.5	0.0	0.0

区 分	予防査察 (災害弱者宅防火訪問)		そ の 他 (式典等含む)		計	
	回 数	延人員	回 数	延人員	回 数	延人員
消防団員	0	0	19	77	78	1,308
構成比(%)	0.0	0.0	24.4	5.9	100.0	100.0

27. 消防団員火災出動状況

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

月別 \ 出動	件 数	放水台数	延べ人員	火災発生件数
1月				1
2月	1		11	2
3月	3		33	6
4月				
5月				2
6月				1
7月				1
8月				
9月				
10月				3
11月				1
12月				
計	4	0	44	17

IV 予 防



28. 防火対象物及び立入検査実施状況

(令和5年4月1日～令和6年3月31日 単位：件)

区 分			防 火 対 象 物 火 数	立 入 検 査 実 施 状 況	指 導 勸 告 数 (延 事 業 所 数)
合 計			2,266	814	196
1 項	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等	3	3	
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場 等	56	35	6
2 項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等			
	ロ	遊 技 場 ・ タ ン ス ホ ー ル 等	11	12	1
	ハ	性 風 俗 関 連 店 舗			
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	2	2	1
3 項	イ	待 合 ・ 料 理 店 等			
	ロ	飲 食 店	76	17	7
4 項		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト 等	155	82	34
5 項	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	42	21	4
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅	443	78	24
6 項	イ	病 院 ・ 診 療 所 ・ 助 産 所	60	22	5
	ロ	福 祉 施 設 等	45	38	12
	ハ	福 祉 施 設 等 (通 所 施 設)	58	49	6
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校 等	15	14	2
7 項		小 学 校 ・ 中 学 校 等	90	89	13
8 項		図 書 館 ・ 美 術 館 等	3		
9 項	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場 等	1	1	0
	ロ	(イ) 以 外 の 公 衆 浴 場			
10 項		停 車 場 ・ 発 着 場	3		
11 項		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等	44	1	1
12 項	イ	工 場 ・ 作 業 場 等	301	50	4
	ロ	映 画 ス タ ッ シ ョ ・ テ レ ビ ス タ ッ シ ョ			
13 項	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	41	21	
	ロ	飛 行 機 ・ ヘ リ コ プ タ ー の 格 納 庫			
14 項		倉 庫	214	63	1
15 項		前 各 項 以 外 の 事 業 場	337	87	12
16 項	イ	複 合 用 途 (特 定)	179	110	54
	ロ	複 合 用 途 (そ の 他)	80	17	9
16項の2		地 下 街			
16項の3		準 地 下 街			
17 項		重 要 文 化 財 ・ 美 術 品 等	7	2	
18 項		延 長 50m 以 上 の ア ー ケード			
19 項		市 町 村 長 の 指 定 す る 山 林			
20 項		総 務 省 令 で 定 め る 舟 車			

29. 建築確認申請状況

(令和5年4月1日～令和6年3月31日 単位：件)

区 分		合計	新築	増築	改築	用途 変更	その他
合 計		107	81	25	0	1	0
1 項	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等					
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場 等	3	2	1		
2 項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等					
	ロ	遊 技 場 ・ タ ン ソ ス ホ ー ル 等					
	ハ	性 風 俗 関 連 店 舗					
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等					
3 項	イ	待 合 ・ 料 理 店 等					
	ロ	飲 食 店	4	4			
4 項		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト 等	7	6	1		
5 項	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所					
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅	8	8			
6 項	イ	病 院 ・ 診 療 所 ・ 助 産 所	4	2	2		
	ロ	福 祉 施 設 等	1	1			
	ハ	福 祉 施 設 等 (通 所 施 設)	2	2			
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校 等					
7 項		小 学 校 ・ 中 学 校 等	1		1		
8 項		図 書 館 ・ 美 術 館 等					
9 項	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場 等					
	ロ	(イ) 以 外 の 公 衆 浴 場					
10 項		停 車 場 ・ 発 着 場					
11 項		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等					
12 項	イ	工 場 ・ 作 業 場 等	8	6	2		
	ロ	映 画 ス タ ジ ョ ・ テ レ ビ ス タ ジ ョ					
13 項	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	3	1	2		
	ロ	飛 行 機 ・ ヘ リ コ プ タ ー の 格 納 庫					
14 項		倉 庫	8	6	2		
15 項		前 各 項 以 外 の 事 業 場	26	16	10		
16 項	イ	複 合 用 途 (特 定)	4	3		1	
	ロ	複 合 用 途 (そ の 他)	1		1		
17 項		重 要 文 化 財 ・ 美 術 品 等					
専用住宅			27	24	3		
その他							

30. 防火管理者選任及び消防計画届出状況

(令和6年4月1日現在 単位:敷地)

区 分			防火管理義務 対 象 物 数	防 火 管 理 者 選任対象物数	防 火 管 理 者 選 任 率 (%)	消防計画作成 対 象 物 数	消 防 計 画 作成率 (%)
合 計			691	677	98.0	677	98.0
1 項	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等	3	3	100.0	3	100.0
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場 等	46	46	100.0	46	100.0
2 項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等					
	ロ	遊技場・ダンスホール等	9	9	100.0	9	100.0
	ハ	性 風 俗 関 連 店 舗					
	ニ	カラオケボックス等	2	2	100.0	2	100.0
3 項	イ	待 合 ・ 料 理 店 等					
	ロ	飲 食 店	52	49	94.2	49	94.2
4 項		百 貨 店 ・ マーケット等	122	120	98.4	120	98.4
5 項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	14	14	100.0	14	100.0
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	61	58	95.1	58	95.1
6 項	イ	病院・診療所・助産所	15	15	100.0	15	100.0
	ロ	福 祉 施 設 等	35	35	100.0	35	100.0
	ハ	福祉施設等(通所施設)	34	34	100.0	34	100.0
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	6	6	100.0	6	100.0
7 項		小 学 校 ・ 中 学 校 等	21	21	100.0	21	100.0
8 項		図 書 館 ・ 美 術 館 等	2	2	100.0	2	100.0
9 項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	1	1	100.0	1	100.0
	ロ	(イ)以外の公衆浴場					
10 項		停 車 場 ・ 発 着 場					
11 項		神社・寺院・教会等	19	14	73.7	14	73.7
12 項	イ	工 場 ・ 作 業 場 等	33	33	100.0	33	100.0
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ					
13 項	イ	自動車車庫・駐車場					
	ロ	飛行機・ヘリコプターの格納庫					
14 項		倉 庫	16	16	100.0	16	100.0
15 項		前各項以外の事業場	51	51	100.0	51	100.0
16 項	イ	複合用途(特 定)	127	126	99.2	126	99.2
	ロ	複合用途(その他)	22	22	100.0	22	100.0
16項の2		地 下 街					
16項の3		準 地 下 街					
17 項		重要文化財・美術品等					
18 項		延長50m以上のアーケード					
19 項		市町村長の指定する山林					
20 項		総務省令で定める舟車					

31. 中高層防火対象物調

(令和6年4月1日現在 単位：棟)

区 分			合 計	3 階	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10階 (以上)
合 計			352	191	73	32	19	7	6	2	22
1 項	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等	1		1						
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場 等									
2 項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等									
	ロ	遊 技 場 ・ タ ン ス ホール等									
	ハ	性 風 俗 関 連 店 舗									
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等									
3 項	イ	待 合 ・ 料 理 店 等									
	ロ	飲 食 店									
4 項		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト 等	1	1							
5 項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	11	2	1		1	3	3		1
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅	182	87	43	18	11	2	1	2	18
6 項	イ	病院・診療所・助産所	4	3				1			
	ロ	福 祉 施 設 等	5	2	3						
	ハ	福祉施設等(通所施設)	1	1							
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	1	1							
7 項		小 学 校 ・ 中 学 校 等	24	13	9	2					
8 項		図 書 館 ・ 美 術 館 等									
9 項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等									
	ロ	(イ)以外の公衆浴場									
10 項		停 車 場 ・ 発 着 場									
11 項		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等									
12 項	イ	工 場 ・ 作 業 場 等	8	7	1						
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ									
13 項	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	5	2	3						
	ロ	飛行機・ヘリコプターの格納庫									
14 項		倉 庫	6	4	1		1				
15 項		前各項以外の事業場	27	19	3	2	3				
16 項	イ	複 合 用 途 (特 定)	45	28	4	6	2	1	2		2
	ロ	複 合 用 途 (そ の 他)	31	21	4	4	1				1
16項の2		地 下 街									
16項の3		準 地 下 街									
17 項		重要文化財・美術品等									
18 項		延長50m以上のアーケード									
19 項		市町村長の指定する山林									
20 項		総務省令で定める舟車									

32. 用途別消防用設備等の設置状況

(対象物数：令和6年4月1日現在 単位：棟)

消 防 用 設 備 等 区 分			消 火 設 備			警 報 設 備			避 難 設 備	
			消 火 器	屋 内 消 火 栓	ス プ リ ン ク ラ ー	自 動 火 災 報 知 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	非 常 警 報 設 備	避 難 器 具	誘 導 灯
合 計			2,266	204	76	927	11	418	199	799
1 項	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等	3	2	1	3		3		3
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場 等	56	6		31		28		40
2 項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等								
	ロ	遊 技 場 ・ タ ン ソ ス ホ ー ル 等	11	3	1	11	1	6		11
	ハ	性 風 俗 関 連 店 舗								
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	2			2		1	1	2
3 項	イ	待 合 ・ 料 理 店 等								
	ロ	飲 食 店	76			13		33		63
4 項		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト 等	155	14	6	85		86		143
5 項	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	42	8		20	1	7	9	42
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅	443	11		113	2	20	118	32
6 項	イ	病 院 ・ 診 療 所 ・ 助 産 所	60	3	10	27	1	23	2	56
	ロ	福 祉 施 設 等	45		45	45		14	1	45
	ハ	福 祉 施 設 等 (通 所 施 設)	58	2		43	1	5	3	57
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校 等	15	5		11		8	1	13
7 項		小 学 校 ・ 中 学 校 等	90	46		62		68	10	17
8 項		図 書 館 ・ 美 術 館 等	3					2		
9 項	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場 等	1	1		1		1		1
	ロ	(イ) 以 外 の 公 衆 浴 場								
10 項		停 車 場 ・ 発 着 場	3	1		3				
11 項		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等	44				1	24		1
12 項	イ	工 場 ・ 作 業 場 等	301	38		128		9		29
	ロ	映 画 ス タ ヂ ー オ ・ テ レ ビ ス タ ヂ ー オ								
13 項	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	41			12				5
	ロ	飛 行 機 ・ ヘ リ コ プ タ ー の 格 納 庫								
14 項		倉 庫	214	33		88		7		31
15 項		前 各 項 以 外 の 事 業 場	337	15		68	2	38	6	59
16 項	イ	複 合 用 途 (特 定)	179	13	13	123		31	29	131
	ロ	複 合 用 途 (そ の 他)	80	3		31	2	4	19	18
16項の2		地 下 街								
16項の3		準 地 下 街								
17 項		重 要 文 化 財 ・ 美 術 品 等	7			7				
18 項		延 長 50m 以 上 の ア ー ケ ー ト								
19 項		市 町 村 長 の 指 定 す る 山 林								
20 項		総 務 省 令 で 定 め る 舟 車								

33. 危険物施設数及び立入検査実施状況

(施設数：令和6年4月1日現在)

(検査状況：令和5年4月1日～令和6年3月31日 単位：件)

区 分		施 設 数	立入検査実施数 (延)	指示勧告数 (延)
合計 (A + B + C)		281	207	9
製 造 所 (A)		1	1	
貯 蔵 所	小 計 (B)	211	150	5
	屋 内 貯 蔵 所	22	10	1
	屋 外 貯 蔵 所	10	9	
	屋内タンク貯蔵所	1		
	屋外タンク貯蔵所	24	16	
	地下タンク貯蔵所	52	21	2
	簡易タンク貯蔵所			
	移動タンク貯蔵所	102	94	2
取 扱 所	小 計 (C)	69	56	4
	給 油 取 扱 所	42	39	3
	第一種販売取扱所			
	第二種販売取扱所			
	一 般 取 扱 所	27	17	1
仮 貯 蔵				

34. 危険物施設の許認可・検査・承認・届出状況

(令和5年4月1日～令和6年3月31日 単位：件)

区 分	合 計	許 可		検 査				承 認			届 出					
		設 置	変 更	設 置 完 成	変 更 完 成	水 圧	水 張	仮 使 用	仮 貯 蔵	仮 取 扱	選 任 監 督 任 者	保 安 ・ 引 渡	譲 渡 ・ 引 渡	変 更 量 ・ 品 名	軽 微 な 変 更	廃 止
合 計	107	4	11	8	10			3			25	4	4	34	4	
製 造 所																
屋 内 貯 蔵 所	10			1							6		3			
屋 外 貯 蔵 所																
屋内タンク貯蔵所																
屋外タンク貯蔵所	14		1	2	1			1			6			3		
地下タンク貯蔵所	9	1		1							3			4		
簡易タンク貯蔵所																
移動タンク貯蔵所	34	2	8	2	7							3		9	3	
給 油 取 扱 所	28		2	1	2			2			6		1	13	1	
第一種販売取扱所																
第二種販売取扱所																
一 般 取 扱 所	12	1		1							4	1		5		
タ ン ク 製 造																
仮 取 扱																

35. 火薬類貯蔵施設及び保安検査・立入検査実施状況

(令和5年4月1日～令和6年3月31日 単位：件)

火薬類貯蔵施設	保安検査数	立入検査実施数(延)
3	2	3

36. 火薬類許可・届出処理件数

(令和5年4月1日～令和6年3月31日 単位：件)

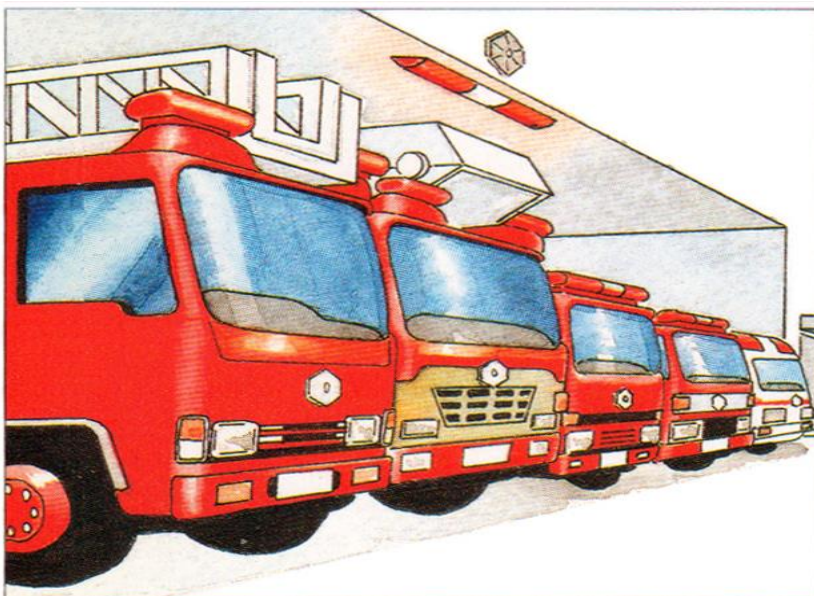
区 分	件 数
消 費 許 可 (煙 火 を 除 く)	5
火 薬 庫 外 貯 蔵 所 指 示	2
保 安 検 査 (火 薬 庫)	2
火 薬 類 輸 入 届	
取 扱 保 安 責 任 者 選 任 解 任 届	1
火 薬 庫 出 納 報 告	3
火 薬 類 譲 渡 許 可	
火 薬 類 譲 受 許 可	5

37. 予防関係諸届出状況

(令和5年4月1日～令和6年3月31日 単位：件)

区 分		届 出 数
防 火 対 象 物 使 用 開 始		98
設 備 設 置	変 電 設 備	12
	発 電 設 備	3
	蓄 電 池 設 備	5
	ネ オ ン 管 設 備	
少 量 危 険 物	貯 蔵 ・ 取 扱	15
	変 更	7
	廃 止	2
指 定 可 燃 物	貯 蔵 ・ 取 扱	
	変 更	1
	廃 止	
液 化 石 油 ガ ス	貯 蔵 ・ 取 扱	19
	変 更	1
	廃 止	

V 警 防



38. 消防力の基準と現有消防力の比較

(令和6年4月1日現在)

区 分	基 準 (A)	現 有 (B)	比 較 (B - A)	充足率 (%)	備 考
署 所	4	4	0	100.0	
指 揮 車	1	1	0	100.0	
消防ポンプ自動車	6	6	0	100.0	水槽付きを含む
小型動力ポンプ	35	35	0	100.0	
はしご付消防車	1	0	△ 1	0.0	
化学消防車	2	2	0	100.0	うち1台はポンプ車を化学車換算
救急自動車	4	4	0	100.0	予備車は含まない
救助工作車	1	1	0	100.0	
消防職員	172	114	△ 58	66.3	現有数は再任用職員5名を含む

39. 消防吏員出動状況

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

区 分	火 災 (管外への応援出動を含む)		救急業務		救助活動 (捜索活動に伴うものを除く)		風水害等の災害	
	回 数	延人員	回 数	延人員	回 数	延人員	回 数	延人員
消防吏員	8	144	3,892	12,573	39	432	1	3
構成比(%)	0.1	0.9	80.3	78.4	0.8	2.7	0.0	0.0

区 分	演習・訓練等		広報・指導		警防調査		火災原因調査	
	回 数	延人員	回 数	延人員	回 数	延人員	回 数	延人員
消防吏員	13	194	48	128	77	207	9	27
構成比(%)	0.3	1.2	1.0	0.8	1.6	1.3	0.2	0.2

区 分	特別警戒		捜 索		予防査察		誤 報 等	
	回 数	延人員	回 数	延人員	回 数	延人員	回 数	延人員
消防吏員	90	276	0	0	488	1,159	28	317
構成比(%)	1.8	1.7	0.0	0.0	10.1	7.2	0.6	2.0

区 分	そ の 他		計	
	回 数	延人員	回 数	延人員
消防吏員	155	583	4,848	16,043
構成比(%)	3.2	3.6	100.00	100.00

40. 消防本部・署車両配置状況

(令和6年4月1日現在)

区 分	車 両 名	年 式	メーカー	排気量cc	ポンプ級別等	備 考
消 防 本 部	連 絡 車 (ス テ ー ジ ア)	H11	ニッサン	2,490		(株)ネットヨタ仙 台名取店より寄贈
	け す ゾ ウ く ん	H14	マツダ	1,990		日本宝くじ協会 より寄贈
	人 員 搬 送 車 (29人乗り)	R 元	三 菱	2,999		サントリーホー ルディングス(株) より寄贈
	V O X Y	H26	トヨタ	1,980		(株)オイルブラン トナトリより寄 贈
消 防 署	水槽付 消防ポンプ自動車	H20	日 野	6,400	モリタ A-2 積載水 1.5 m ³	(一財)空港環 境整備協会
	水槽付 消防ポンプ自動車	H31	日 野	8,860	モリタ A-2 積載水 5 m ³	
	化学 消防ポンプ自動車	H26	日 野	6,400	モリタ A-1 積載水 1.3 m ³ 薬液 0.5 m ³	(一財)空港環 境整備協会
	消防ポンプ自動車	H 9	三 菱	4,560	GMいちはら A-2	神奈川県海老名市 消防本部より寄贈
	救 助 工 作 車	H27	日 野	6,400		(一財)空港環 境整備協会
	資 機 材 搬 送 車	H10	三 菱	4,560		
	防災車(サファリ)	H 8	ニッサン	4,160		
	査察車(ミニキャブ)	H11	三 菱	650		東京都下水道 局より寄贈
	査察車(アクティ)	H25	ホンダ	650		名取つばさライ オンズクラブよ り寄贈
	連絡車(アクティ)	H 7	ホンダ	650		
	人 員 搬 送 車	H25	トヨタ	2,690		サントリーホー ルディングス(株) より寄贈
	高規格救急自動車	R 5	トヨタ	2,690		
	高規格救急自動車	H25	トヨタ	2,690		JA名取岩沼・JA共 済連宮城より寄贈
	高規格救急自動車	R 元	トヨタ	2,690		仙台国際空港 (株)
	高規格救急自動車	R 4	トヨタ	2,690		仙台国際空港 (株)
	高規格救急自動車 5 台中 4 台を通常運用、1 台を予備車としている					
	手倉田出張所	消防ポンプ自動車	H28	日 野	4,000	モリタ A-2 積載水 0.6 m ³
	閑上出張所	水槽付 消防ポンプ自動車	H27	日 野	6,400	モリタ A-2 積載水 1.5 m ³
	高館出張所	水槽付 消防ポンプ自動車	H26	日 野	6,400	モリタ A-2 積載水 1.5 m ³
		水槽付 消防ポンプ自動車	R 5	日 野	5,120	モリタ A-2 積載水 1.5 m ³
		高規格救急自動車	H30	トヨタ	2,690	

41. 消防資器材保有状況

(令和6年4月1日現在)

種別	品名	数量	種別	品名	数量
放水器具	エアフォームノズル	6	保護器具	空気呼吸器	43
	ラインプロポーションナー	3		送排風機	2
	クロスファイアー放水銃	1		耐電手袋	20
	ガンタイプ噴霧ノズル	18		耐電衣	11
	エコファイターノズル	7		耐電ズボン	11
	二又分岐	10		耐電長靴	11
	背負い式消火水のう	15		耐熱服	2
	ウォーターチャージャー	3		陽圧式化学防護服	6
	消防用ホース(50mm)	137		血圧計(携帯用)	7
	消防用ホース(65mm)	226		血圧計(車両固定式)	5
一般救助用器具	かぎ付き梯子	8	救急資材等	患者監視装置	6
	三連梯子	8		酸素飽和度測定器(携帯用)	9
	平担架(バスケット担架含む)	4		携帯電話	12
	空気式救助マット	1		タブレット端末	4
	救命索発射銃	1		自動心マッサージ器	5
	救助用縛帯	7		CPRアシスト	3
	サバイバースリング	1		喉頭鏡	7
重量物排除器具	油圧ジャッキ	1		ビデオ喉頭鏡	6
	マット型空気圧ジャッキ	1		半自動式除細動器	6
	手動ジャッキ	2		AED	4
	可搬ウインチ	3		自動人工呼吸器	6
	油圧スプレッター(大型含む)	1		吸引器(車両固定式)	5
	充電式油圧切断機スプレッター	6		吸引器(携帯用)	9
	マンホール救助器具	1		スクープストレッチャー	7
切断用器具	油圧切断機(大型含む)	1		バックボード	9
	エンジンカッター	5		レスキューシート	5
	酸素溶断機	1		減圧式固定具	5
	チェーンソー	5		血管透過装置	4
	鉄線カッター	8		血糖測定器	7
	空気鋸	1		一酸化炭素測定器	5
破壊用器具	万能斧	23		CO2モニター	5
	ハンマー	8		防毒マスク	15
	削岩機	1		アイソレーションフード	6
	ハンマードリル	2		オゾン殺菌器	7
	携帯用コンクリート破壊器具	6		紫外線オゾンロッカー	2
測定器具	可燃性ガス測定器	4		アイソポッド	1
	有毒ガス測定器	4		酸素ボンベ(10L)	32
	酸素濃度測定器	4		酸素ボンベ(4L)	13
	放射線測定器	2		酸素ボンベ(2L)	49
水難救助器具	救命胴衣	132		気道管理トレーナー	1
	救命浮環	8		静脈路確保訓練セット	8
	浮標	1		高度救急処置シミュレーター	3
	救命ボート(アルミボート含む)	3		蘇生訓練人形(成人)	19
	水中投光器	1		蘇生訓練人形(小児)	5
	船外機	2		蘇生訓練人形(乳幼児)	7

42. 消防水利地区別配置状況

(令和6年4月1日現在)

地区別	施設別	消 火 栓			防 火 貯水槽	プール等	海
		地 下 式	地 上 式	小 計			
増 田		355 (316)	14 (14)	369 (330)	36 (36)	5 (5)	0 (0)
閑 上		118 (111)	6 (6)	124 (117)	16 (16)	1 (1)	10 (10)
下 増 田		48 (44)	0 (0)	48 (44)	16 (14)	1 (1)	0 (0)
名 取 が 丘		54 (48)	0 (0)	54 (48)	9 (9)	1 (1)	0 (0)
館 腰		171 (146)	2 (2)	173 (148)	26 (24)	1 (1)	0 (0)
愛 島		167 (141)	1 (1)	168 (142)	40 (38)	1 (1)	0 (0)
高 館		272 (219)	22 (15)	294 (234)	34 (33)	8 (8)	0 (0)
杜せきのした		29 (29)	0 (0)	29 (29)	17 (17)	0 (0)	0 (0)
美 田 園		64 (64)	0 (0)	64 (64)	9 (9)	0 (0)	0 (0)
合 計		1,278 (1,118)	45 (38)	1,323 (1,156)	203 (196)	18 (18)	10 (10)

() 内は基準内水利数

43. 消火栓管径別状況

(令和6年4月1日現在)

管 径 (mm)	合 計	100未満	100～150	200～250	300以上
設 置 数	1,323	170	815	213	125

44. 消防相互応援協定等締結状況

番号	応援協定等の名称	締結年月日
	応援協定等の内容	
1	消防相互応援協定	S 4 8. 4. 1
	・ 目 的 大規模火災、特殊火災、突発的災害に対して相互に応援する。 ・ 協定市等（9団体） 名取市・仙台市・岩沼市・塩釜市・多賀城市・松島町・七ヶ浜町・利府町・塩釜地区消防事務組合	
2	名取市消防本部と仙台市ガス局・名取市農業協同組合とのガス災害対策に関する業務協定	S 5 7. 6. 1
	・ 目 的 仙台市ガス局・名取市農業協同組合が供給するガスに起因する災害の防止、又は災害が発生した場合、被害の軽減を図るため相互に協力する。 ・ 協定団体 仙台市ガス局、名取市農業協同組合（名取岩沼農業協同組合に名称変更）	
3	東北自動車道宮城県消防相互応援協定	S 6 3. 7. 1
	・ 目 的 東北自動車道における火災、救急又はその他の災害が発生した場合、相互に応援し被害の軽減を図る。 ・ 協定市等（6団体・覚書7団体） 名取市・仙台市・仙南地域広域行政事務組合・栗原地域広域行政事務組合（栗原市）・大崎地域広域行政事務組合・黒川地域行政事務組合 ・ 改正等 H 2 1. 9. 1 一部改正	
4	仙台東部道路消防相互応援協定	H 7. 7. 7
	・ 目 的 仙台東部道路において、火災、救急、又はその他の災害が発生した場合、相互に応援し被害の軽減を図る。 ・ 協定市等 名取市・岩沼市 ・ 改正等 H 1 3. 8. 1 一部改正	
5	宮城県防災ヘリコプターを使用した大規模特殊災害時における広域航空消防応援に関する協定	H 1 6. 4. 1
	・ 目 的 宮城県に派遣されている職員の応援派遣に関する手続き等について、必要な事項の協定。 ・ 協定市等（13団体） 宮城県・仙台市・名取市・岩沼市・石巻地区広域行政事務組合・塩釜地区消防事務組合・亘理地区行政事務組合・仙南地域広域行政事務組合・栗原地域広域行政事務組合（栗原市）・大崎地域広域行政事務組合・登米地域広域行政事務組合（登米市）・気仙沼本吉地域広域行政事務組合・黒川地域行政事務組合	

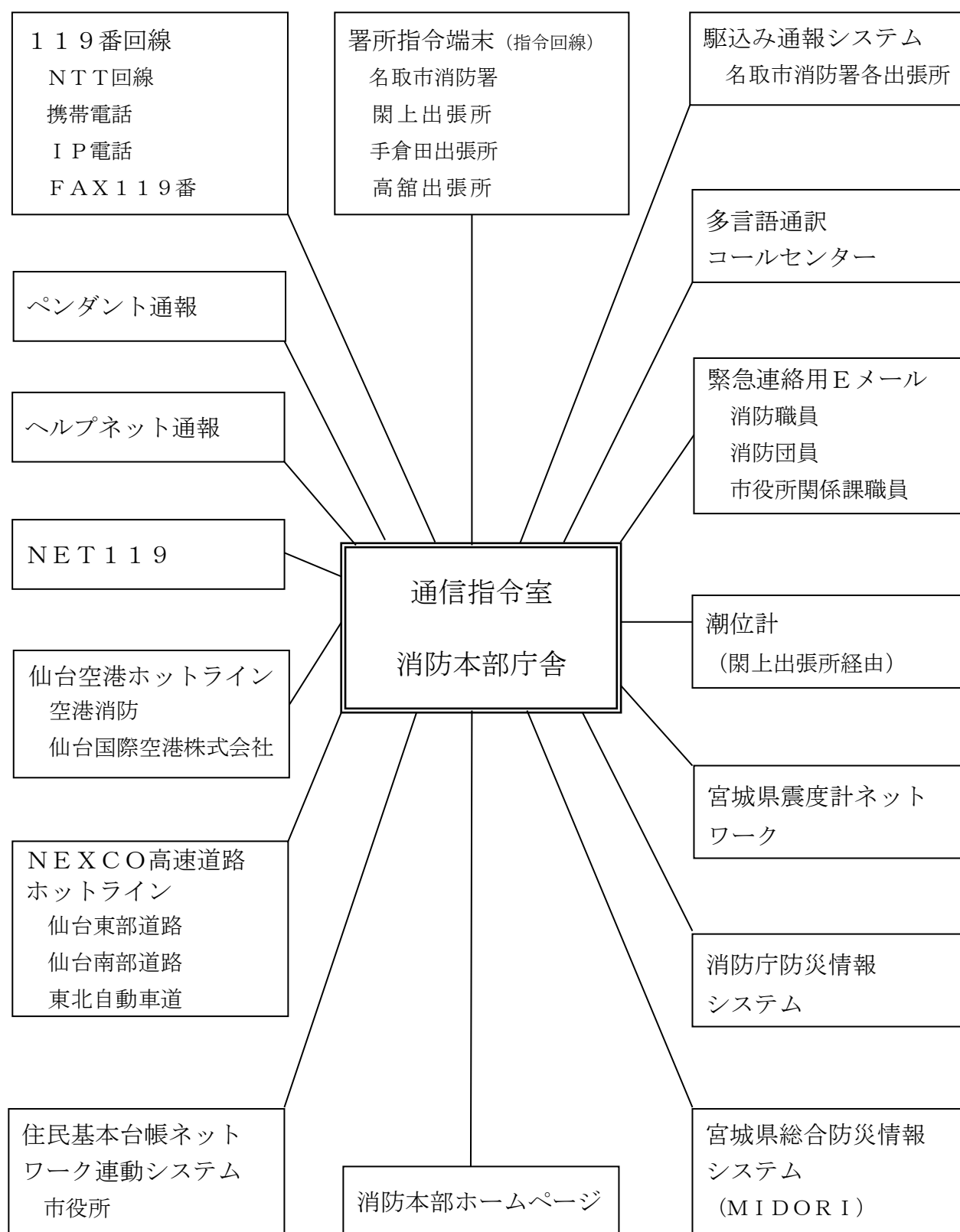
番号	応援協定等の名称	締結年月日
	応援協定等の内容	
6	鉄道災害時における鉄道事業者と消防機関との連携に関する協定	H21.12.25
	・目的 鉄道災害発生時において鉄道事業者と消防機関との連携を図り、より迅速かつ効率的な消防活動、及び安全管理体制の確保に努めるとともに、公共交通機関の早期運転再開の実施を図る。 ・協定団体（18団体） 東日本旅客鉄道株式会社仙台支社・東日本旅客鉄道株式会社水戸支社・東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社・日本貨物鉄道株式会社・阿武隈急行株式会社・仙台空港鉄道株式会社・仙台臨海鉄道株式会社・仙台市消防局・名取市消防本部・岩沼市消防本部・石巻地区広域行政事務組合消防本部・塩釜地区消防事務組合消防本部・亶理地区行政事務組合消防本部・仙南地域広域行政事務組合消防本部・栗原市消防本部・大崎地域広域行政事務組合消防本部・登米市消防本部・気仙沼本吉地域広域行政事務組合消防本部	
7	仙台東部道路及び仙台南部道路消防相互応援協定	H25.7.1
	・目的 仙台東部道路等において、火災、救急、又はその他の災害が発生した場合、相互に応援し被害の軽減を図る。 ・協定市等（3団体） 仙台市・名取市・仙南地域広域行政事務組合 ・改正等 H13.8.1 仙台市と名取市で締結していた旧協定を廃止。 H17.3.15 協定市等に仙南地域広域行政事務組合を加えた3団体で協定を締結。 H25.6.30 道路管理者変更に伴う上記協定の廃止	
8	名取市消防本部と仙南ガス株式会社とのガス災害対策に関する業務協定	H29.5.12
	・目的 名取市内において仙南ガスが供給するガスに起因する災害の防止、又は災害が発生した場合、被害の軽減を図るため相互に協力する。 ・協定団体 仙南ガス株式会社	
9	災害時における消防用水等の確保に関する協定	H30.5.14
	・目的 名取市内において大規模な林野火災等の災害が発生した際にコンクリートミキサー車による消防用水を確保するための必要な事項を定める協定。 ・協定団体 仙台地区生コンクリート協同組合・株式会社タイハク	
10	宮城県広域消防相互応援協定	H31.4.1
	・目的 大規模、又は特殊な災害に際し、県内全消防本部が相互に支援する。 ・協定市等（11団体） 仙台市、名取市、登米市、栗原市、黒川地域行政事務組合、石巻地区広域行政事務組合、塩釜地区消防事務組合、亶理地区行政事務組合、仙南地域広域行政事務組合、大崎地域広域行政事務組合、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合 ・改正等 H31.4.1 岩沼市消防本部と亶理地区消防本部の広域化に伴い締結者が変更となったことから、H4.4.1締結の旧協定書を廃止し、新たな協定の締結。	

番号	応援協定等の名称	締結年月日
	応援協定等の内容	
1 1	宮城県広域航空消防応援協定	H 3 1. 4. 1
	・ 目 的 宮城県が所有する防災ヘリコプターの応援を求めることについて、必要事項の協定。 ・ 協定市等（12 団体） 宮城県、仙台市、名取市、登米市、栗原市、黒川地域行政事務組合、石巻地区広域行政事務組合、塩釜地区消防事務組合、亶理地区行政事務組合、仙南地域広域行政事務組合、大崎地域広域行政事務組合、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合 ・ 改正等 H 3 1. 4. 1 岩沼市消防本部と亶理地区消防本部の広域化に伴い締結者が変更となったことから、H 4. 4. 1 締結の旧協定書を廃止し、新たな協定の締結。	
1 2	宮城県内航空消防応援協定	H 3 1. 4. 1
	・ 目 的 仙台市が保有する消防ヘリコプターの応援を求めることについて、必要事項の協定。 ・ 協定市等（11 団体） 仙台市、名取市、登米市、栗原市、黒川地域行政事務組合、石巻地区広域行政事務組合、塩釜地区消防事務組合、亶理地区行政事務組合、仙南地域広域行政事務組合、大崎地域広域行政事務組合、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合 ・ 改正等 H 3 1. 4. 1 岩沼市消防本部と亶理地区消防本部の広域化に伴い締結者が変更となったことから、H 1 3. 4. 1 締結の旧協定書を廃止し、新たな協定の締結。	
1 3	仙台空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定	R 3. 3. 2 3
	・ 目 的 空港、及びその周辺における航空機に関する火災、若しくは空港におけるその他の火災、又はそれらの発生のおそれのある事態に際し、緊密な協力のもとに一貫した消火救難活動を実施し、被害の防止、又は軽減を図る。 ・ 協定市等（5 団体） 仙台国際空港株式会社・名取市・岩沼市・仙台市・亶理地区行政事務組合 ・ 改正等 H 6. 9. 8 3 団体で締結していた旧協定を廃止し、協定市等に仙台市を加えた4 団体で協定を締結。 H 2 2. 3. 3 1 覚書の一部改正。 H 2 8. 6. 2 8 仙台空港民営化に伴い東京航空局仙台空港事務所との協定を廃止。 H 2 8. 6. 3 0 上記の理由により、覚書を廃止。 H 2 8. 6. 2 8 仙台国際空港株式会社と3 市で協定書及び覚書を締結。 R 3. 3. 2 3 岩沼市消防本部と亶理地区消防本部の広域化に伴い締結者が変更になったことから、上記の旧協定書を廃止し、新たに仙台国際空港株式会社と3 市1 組合で協定書及び覚書の締結。	
1 4	災害発生における消防活動に関する応援協定	R 3. 4. 1
	・ 目 的 市域内における3 階以上の中高層建築物からの火災、列車事故、及び自然災害等の発生に際し、高所作業車の応援を受けて消防活動を有効に行うことについて、必要な事項の協定。 ・ 協定団体 名取電気工事災害協力会 ・ 改正等 H 2 6. 1 2. 1 締結した旧協定の上記代表者変更に伴う協定書の再締結。	

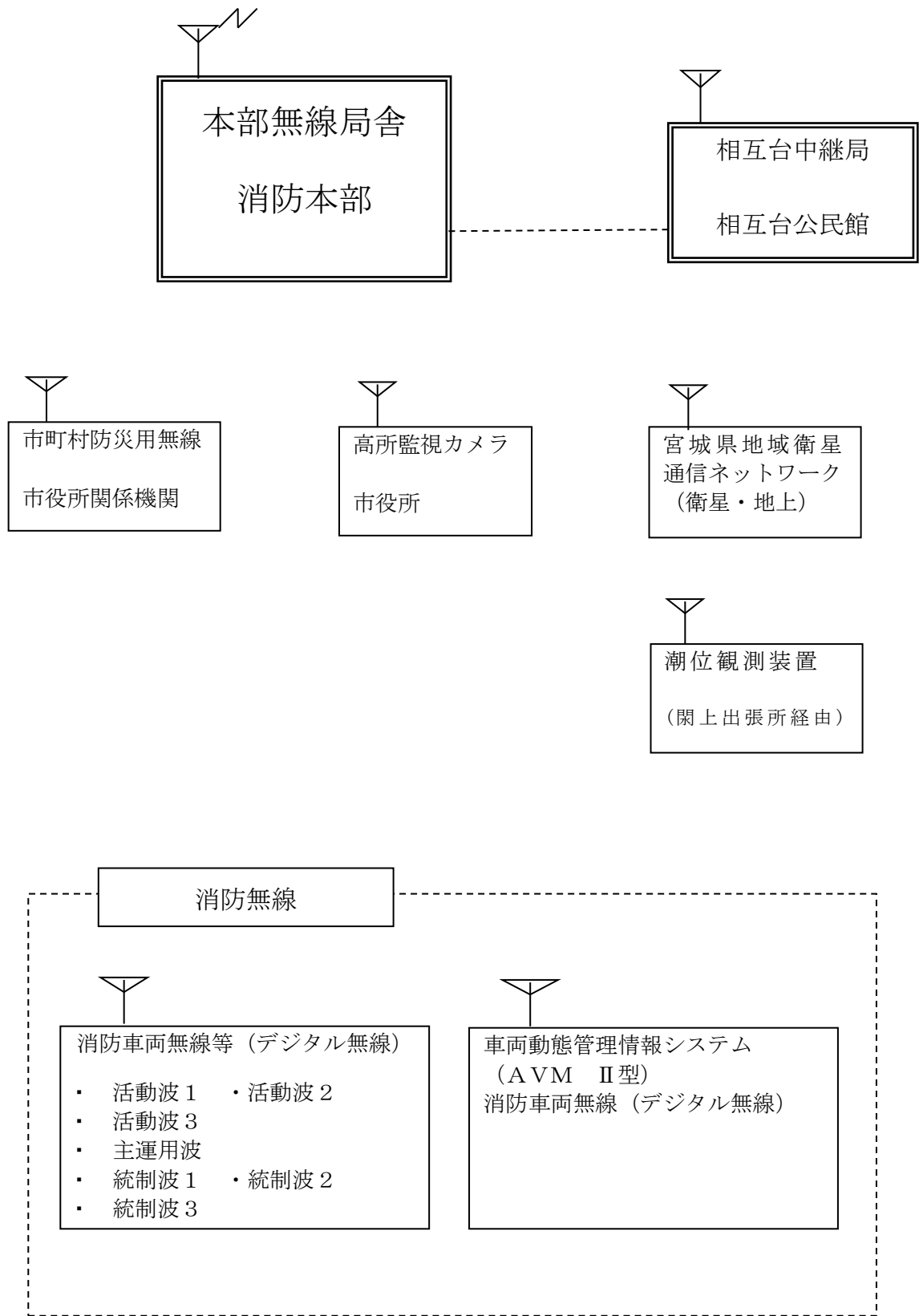
VI 通信・指令



45. 通信指令系統図（有線）



46. 通信指令系統図（無線）



47. 通信指令施設一覧

(1) 通信指令装置設備

(令和6年4月1日現在)

指令台	消防車両動態管理情報システム	住民基本台帳連動装置
車両運用表示装置	災害状況等自動案内装置	非常用指令施設
病院運用表示装置	情報収集用テレビ（4台）	非常用発電装置
指令電送装置（出力装置4台）	表示装置 （大型ディスプレイ指令室3台、 事務室1台、待機室1台）	署所端末装置（4台）
自動出動指定装置		地域衛星通信ネットワーク
地図検索処理装置	情報発信システム （ホームページ）	市防災無線移動局
無線統制台	119番ファクシミリ受信装置	災害情報・招集一斉発信装置 （Eメール）
音声合成装置	NET119緊急通報システム	消防庁防災情報システム 端末装置
気象情報収集装置	消防情報支援システム	
高所監視装置	震度ネットワーク（震度計）	電子式電話交換設備
潮位観測装置		

(2) 電話回線

119番回線	一般回線	携帯回線
NTT119番回線（4回線）	一般電話（7回線）	救急車車載携帯電話（4台）
IP電話119番回線	指令台専用回線（4回線）	救急活動等動画像伝送用 スマートフォン（4台）
KDDI（2回線）	自動案内回線（12回線）	災害活動用携帯電話（6台）
ソフトバンクテレコム（2回線）	インターネット接続回線 （光2回線）	
NTTひかり（2回線）	FAX専用回線（1回線）	
TOHKnet（2回線）		
携帯119番回線		
docomo（2回線）		
au（2回線）		
softbank-M（2回線）		
Rakuten-M（2回線）		
有線専用回線	他機関専用回線	
指令回線（イーサネット回線）	仙台空港ホットライン	NEXCO高速道路ホットライン
震度ネットワーク（光回線）	多言語通訳コールセンター	ペンダント通報
MIDORI（光回線）		ヘルプネット通報
NET119（光回線）		

48. 消防救急無線局一覧

消防救急デジタル無線

(令和6年4月1日現在)

呼 出 名 称	空中線	機器の概要	
なとりしょうぼう ほんぶ	10w	基地局	活動波 1、活動波 2、活動波 3、主運用波 統制波 1、統制波 2、統制波 3
なとりしょうぼう そうごだい	3.16w		

呼 出 名 称	空中線	機器の概要	呼 出 名 称	空中線	機器の概要	配置場所
なとりしょうぼう しき 1	5w	移動局 車載無線	なとりしょうぼう 5 0	1w	移動局 携帯無線	指揮 2 号車積載
なとりしょうぼう しき 2	5w		なとりしょうぼう 5 1	1w		指揮 2 号車積載
なとりしょうぼう 1	5w		なとりしょうぼう 5 2	1w		消 防 本 部
なとりしょうぼう すいそう 1	5w		なとりしょうぼう 5 3	1w		化学 1 号車積載
なとりしょうぼう すいそう 3	5w		なとりしょうぼう 5 4	1w		搬送 1 号車積載
なとりしょうぼう きゅうじょ 1	5w		なとりしょうぼう 5 5	1w		水槽 3 号車積載
なとりしょうぼう かがく 1	5w		なとりしょうぼう 5 6	1w		救助 1 号車積載
なとりしょうぼう ささつ 2	5w		なとりしょうぼう 5 7	1w		救助 1 号車積載
なとりしょうぼう こうほう 1	5w		なとりしょうぼう 5 8	1w		名取消防 1 積載
なとりしょうぼう こうほう 2	5w		なとりしょうぼう 5 9	1w		指揮 2 号車積載
なとりしょうぼう はんそう 1	5w	活動波 1	なとりしょうぼう 6 0	1w	活動波 1	水槽 1 号車積載
なとりしょうぼう はんそう 2	5w	活動波 2	なとりしょうぼう 6 1	2w	活動波 2	消 防 本 部
なとりしょうぼう てくらだ 1	5w	活動波 3	なとりしょうぼう 6 2	2w		消 防 本 部
なとりしょうぼう ゆりあげ 1	5w		なとりしょうぼう 7 0	1w	活動波 3	手倉田 1 号車積載
なとりしょうぼう たかだて 1	5w	主運用波	なとりしょうぼう 7 1	1w	主運用波	閑上 1 号車積載
なとりしょうぼう たかだて 2	5w		なとりしょうぼう 7 2	1w		高館 1 号車積載
なとりしょうぼう きゅうきゅう 1	5w	統制波 1	なとりしょうぼう 7 3	1w	統制波 1	高館 2 号車積載
なとりしょうぼう きゅうきゅう 2	5w	統制波 2	なとりしょうぼう 8 0	1w	統制波 2	市役所防災安全課
なとりしょうぼう きゅうきゅう 3	5w		なとりしょうぼう 9 1	1w		救急 1 号車積載
なとりしょうぼう きゅうきゅう 5	5w	統制波 3	なとりしょうぼう 9 2	1w		救急 2 号車積載
なとりしょうぼう きゅうきゅう 6	5w		なとりしょうぼう 9 3	1w	統制波 3	救急 3 号車積載
			なとりしょうぼう 9 5	2w		救急 5 号車積載

なとりしょうぼう かはん 1	5w	移動局	可搬無線 活動波 1、活動波 2、活動波 3、主運用波 統制波 1、統制波 2、統制波 3	指揮 2 号車積載
なとりしょうぼう かはん 2	5w			消 防 本 部
なとりしょうぼう かはん 3	5w			消 防 本 部

消防団車載無線

呼 出 名 称	空中線	機器の概要	呼 出 名 称	空中線	機器の概要
なとりしょうぼう ますだ 1 ぶ	5w	移動局	なとりしょうぼう ゆりあげ 1 ぶ	5w	移動局
なとりしょうぼう ますだ 2 ぶ	5w		なとりしょうぼう ゆりあげ 2 ぶ	5w	
なとりしょうぼう ますだ 3 ぶ	5w		なとりしょうぼう ゆりあげ 3 ぶ	5w	
なとりしょうぼう ますだ 4 ぶ	5w		なとりしょうぼう ゆりあげ 4 ぶ	5w	
なとりしょうぼう ますだ 5 ぶ	5w		なとりしょうぼう ゆりあげ 5 ぶ	5w	
なとりしょうぼう ますだ 6 ぶ	5w		なとりしょうぼう ゆりあげ 6 ぶ	5w	
なとりしょうぼう ますだ 7 ぶ	5w		なとりしょうぼう しもますだ 1 ぶ	5w	
なとりしょうぼう たてこし 1 ぶ	5w		なとりしょうぼう しもますだ 2 ぶ	5w	
なとりしょうぼう たてこし 2 ぶ	5w		なとりしょうぼう しもますだ 3 ぶ	5w	
なとりしょうぼう たてこし 3 ぶ	5w		なとりしょうぼう しもますだ 4 ぶ	5w	
なとりしょうぼう たてこし 4 ぶ	5w	活動波 2	なとりしょうぼう しもますだ 5 ぶ	5w	活動波 2
なとりしょうぼう たてこし 5 ぶ	5w		なとりしょうぼう たかだて 1 ぶ	5w	
なとりしょうぼう めでしま 1 ぶ	5w		なとりしょうぼう たかだて 2 ぶ	5w	
なとりしょうぼう めでしま 2 ぶ	5w		なとりしょうぼう たかだて 3 ぶ	5w	
なとりしょうぼう めでしま 3 ぶ	5w		なとりしょうぼう たかだて 4 ぶ	5w	
なとりしょうぼう めでしま 4 ぶ	5w		なとりしょうぼう たかだて 5 ぶ	5w	
なとりしょうぼう めでしま 5 ぶ	5w		なとりしょうぼう たかだて 6 ぶ	5w	

消防団携帯無線

呼 出 名 称	空中線	機器の概要	呼 出 名 称	空中線	機器の概要
なとりしょうぼう だんほんぶ1	1 w	移動局 活動波 1 活動波 2	なとりしょうぼう しもますだぶんだん2	1 w	移動局 活動波 1 活動波 2
なとりしょうぼう だんほんぶ2	1 w		なとりしょうぼう たてこしぶんだん1	1 w	
なとりしょうぼう だんほんぶ3	1 w		なとりしょうぼう たてこしぶんだん2	1 w	
なとりしょうぼう ますだぶんだん1	1 w		なとりしょうぼう めでしまぶんだん1	1 w	
なとりしょうぼう ますだぶんだん2	1 w		なとりしょうぼう めでしまぶんだん2	1 w	
なとりしょうぼう ゆりあげぶんだん1	1 w		なとりしょうぼう たかだてぶんだん1	1 w	
なとりしょうぼう ゆりあげぶんだん2	1 w		なとりしょうぼう たかだてぶんだん2	1 w	
なとりしょうぼう しもますだぶんだん1	1 w				

その他の無線

呼 出 名 称	空中線	機 器 の 概 要
ぼうさいなとり しょうぼう	10w	県 防 災 無 線 電 話 (FAX含) (衛星系、地上系)

簡易デジタル無線 (計94台)

消防団長 (計 1台)			
副 団 長 (計 2台)			
増田分団 (計16台)		館腰分団 (計12台)	
増田分団長	増田副分団長	館腰分団長	館腰副分団長
増田1-1	増田1-2	館腰1-1	館腰1-2
増田2-1	増田2-2	館腰2-1	館腰2-2
増田3-1	増田3-2	館腰3-1	館腰3-2
増田4-1	増田4-2	館腰4-1	館腰4-2
増田5-1	増田5-2	館腰5-1	館腰5-2
増田6-1	増田6-2		
増田7-1	増田7-2		
下増田分団 (計12台)		愛島分団 (計12台)	
下増田分団長	下増田副分団長	愛島分団長	愛島副分団長
下増田1-1	下増田1-2	愛島1-1	愛島1-2
下増田2-1	下増田2-2	愛島2-1	愛島2-2
下増田3-1	下増田3-2	愛島3-1	愛島3-2
下増田4-1	下増田4-2	愛島4-1	愛島4-2
下増田5-1	下増田5-2	愛島5-1	愛島5-2
関上分団 (計14台)		高館分団 (計14台)	
関上分団長	関上副分団長	高館分団長	高館副分団長
関上1-1	関上1-2	高館1-1	高館1-2
関上2-1	関上2-2	高館2-1	高館2-2
関上3-1	関上3-2	高館3-1	高館3-2
関上4-1	関上4-2	高館4-1	高館4-2
関上5-1	関上5-2	高館5-1	高館5-2
関上6-1	関上6-2	高館6-1	高館6-2
消防本部 (計11台)			

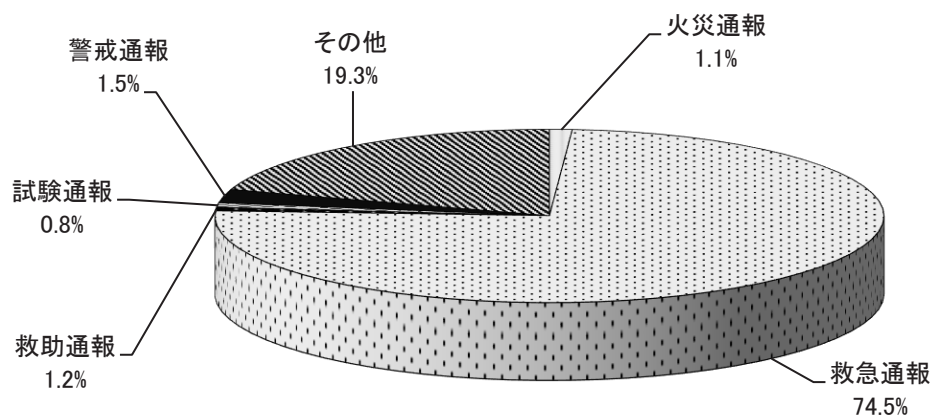
49. 災害通報入電状況

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災通報	8	4	20	5	3	4	8	4	4	0	0	3	63
救急通報	342	297	291	302	359	350	423	479	404	362	364	338	4,311
救助通報	3	5	5	7	5	2	2	2	4	2	1	2	40
試験通報	5	1	6	2	2	1	9	5	13	0	1	1	46
警戒通報	11	11	15	9	11	8	10	16	14	19	13	9	146
その他	75	64	74	86	85	118	137	103	109	105	128	74	1,158
合 計	444	382	411	411	465	483	589	609	548	488	507	427	5,764

※その他＝いたずら・間違い・通報訓練等

令和5年災害通報入電割合



50. 病院情報提供状況

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

科目	種別	119番	一般加入	駆け込み	合計	提供先病院		平日休日別	
						市内	市外	平日	休日
内 科		24	32	0	56	16	40	31	25
整 形 外 科		17	14	0	31	1	30	13	18
小 児 科		24	8	0	32	5	27	14	18
そ の 他		24	24	0	48	6	42	21	27
合 計		89	78	0	167	28	139	79	88

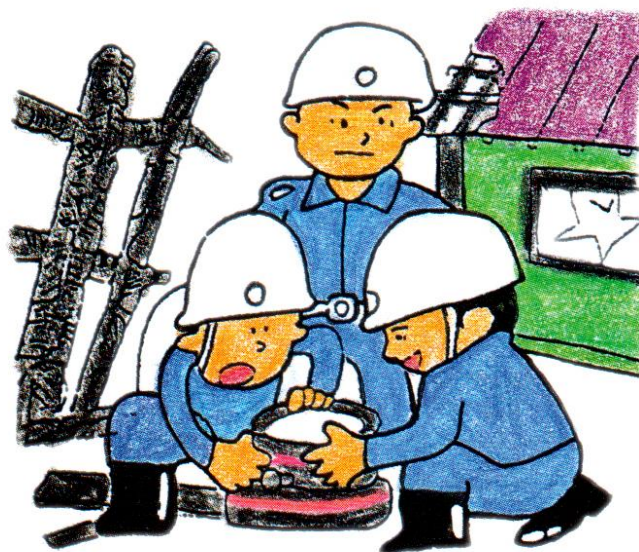
51. 気象観測状況

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

観測項目	風 速		気 温			湿 度	雨 量
観 測 値	平 均 (m/s)	最大瞬間 (m/s)	平 均 (℃)	最 高 (℃)	最 低 (℃)	平 均 (%)	月 積 算 (mm)
1 月	2.0	20.1	1.8	14.7	-7.3	75.5	0.0
2 月	2.2	21.7	2.6	16.9	-5.0	73.3	17.5
3 月	1.9	16.2	8.7	21.6	-1.7	73.8	47.5
4 月	2.3	18.0	12.8	25.6	2.3	66.4	30.5
5 月	1.8	17.3	16.1	30.7	4.1	76.6	93.0
6 月	1.8	18.1	21.2	32.8	10.7	85.0	139.0
7 月	1.6	11.9	26.3	35.1	19.6	83.7	84.0
8 月	2.0	16.0	28.0	36.0	23.6	88.2	20.5
9 月	1.6	12.8	24.8	32.7	15.1	88.3	255.5
10 月	1.9	22.1	16.2	25.5	6.0	77.6	30.5
11 月	1.9	19.2	10.9	23.6	1.4	80.2	29.0
12 月	1.8	20.3	5.4	18.0	-2.6	77.7	31.0
年間平均	1.9	—	14.6	—	—	78.9	64.8

※ 名取市消防本部観測

VII 火 災



52. 令和5年の火災の実態

1. 出火件数

(1) 令和5年中の総出火件数は17件で、前年の12件に比べて5件増加している。

総出火件数17件のうち、建物火災が10件(59%)、次いでその他の火災が5件(約29%)、車両火災が1件(約6%)、林野火災が1件(約6%)となっている。

(2) 建物火災件数は、前年の9件から1件増加している。

2. 焼損規模

(1) 建物火災の焼損面積(表面積及び類焼面積を含む)は41 m²で、前年の482 m²から441 m²の減少となっている。

(2) 車両火災による車両の焼損台数は1台で、前年の7台から6台減少となっている。

3. 損害額

令和5年中の火災による損害額は2,189千円で、前年の32,531千円から約93%減となっている。そのうち建物火災での損害額が一番多く、2,188千円となっており全体の約99%を占めている。

4. 死傷者

令和5年中の火災による死傷者は、建物火災で2名の負傷者が発生している。

5. 出火原因

原因が断定及び推定されているもので一番多いのが放火の疑いで4件、次いで配線器具、電気装置、たばこ、こんろ、たき火、火遊び、取灰の各1件となっている。

53. 火災統計総括表

区 分 月 別	出 火 件 数								焼 損 規 模								死 傷 者	
	計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	(爆 発)	建 物 (m^2)		建 物 収 容 物 の み 焼 損 (件)	林 野 (a)	車 両 (台)	船 舶 (隻)	航 空 機 (機)	そ の 他 (m^2)	死 者	負 傷 者
									床 面 積	表 面 積								
1月	1	1																
2月	2	2							32	3								
3月	6	2	1				3			1		25				2,315		
4月																		
5月	2	1					1									151		1
6月	1			1									1					
7月	1	1								4								
8月																		
9月																		
10月	3	2					1											1
11月	1	1								1								
12月																		
合計	17	10	1	1			5		32	9		25	1			2,466		2

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

り 災 棟 数					り 災 世 帯 数				り 災 人 員	火 災 種 別 損 害 額 (千 円)							
計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計	全 損	半 損	小 損		計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	(爆 発)
1				1						4	4						
2			1	1	10	1		9	16	1,518	1,518						
2			1	1	1			1	4	294	294						
1				1	1			1	3	275	274					1	
1	1									80	80						
2				2	2			2	3	3	3						
1				1	1			1	2	15	15						
10	1		2	7	15	1		14	28	2,189	2,188					1	

54. 火災の概況

区 分		令 和 5 年	令 和 4 年	増 減	増減率 (%)	
		(A)	(B)	(A) - (B) = (C)	(C) / (B) × 100	
出 火 件 数	建 物	10	9	1	11.1	
	林 野	1	0	1	—	
	船 舶				—	
	車 両	1	1	0	0.0	
	そ の 他	5	2	3	150.0	
	計	17	12	5	41.7	
り 災 棟 数	全 焼	1	3	△ 2	△ 66.7	
	半 焼			0	—	
	部 分 焼	2	9	△ 7	△ 77.8	
	ぼ や	7	5	2	40.0	
	計	10	17	△ 7	△ 41.2	
焼 損 面 積	建 物 (㎡)	床面積	32	425	△ 393	△ 92.5
		表面積	9	57	△ 48	△ 84.2
	林 野 (a)		25	0	25	—
	車 両 (台)		1	7	△ 6	△ 85.7
	その他 (㎡)		2,466	0	2,466	—
	死 傷 者	死 者	0	1	△ 1	△ 100.0
負 傷 者		2	3	△ 1	△ 33.3	
計		2	4	△ 2	△ 50.0	
り 災 世 帯 数	全 損	1	3	△ 2	△ 66.7	
	半 損				—	
	小 損	14	14	0	0.0	
	計	15	17	△ 2	△ 11.8	
り 災 人 員		28	42	△ 14	△ 33.3	
火 災 種 別 損 害 額 (単位：千円)	建 物	2,188	20,994	△ 18,806	△ 89.6	
	林 野				—	
	車 両	0	166	△ 166	△ 100.0	
	船 舶				—	
	航 空 機				—	
	そ の 他	1	11,371	△ 11,370	△ 100.0	
	計	2,189	32,531	△ 30,342	△ 93.3	
出 火 率 (人口1万人当りの件数)		2.1	1.5	0.6	40.0	

人口は令和5年12月末現在

55. 出火原因別火災件数・損害額

※()内は建物火災

出火原因	令和5年				令和4年			
	件数		損害額(千円)		件数		損害額(千円)	
放火					1	(1)	287	(287)
放火の疑い	4	(2)	31	(31)				
電気機器					2	(2)	33	(33)
配線器具	1	(1)	74	(74)	1	(1)	2	(2)
たき火	1							
たばこ	1	(1)	15	(15)	1			
火あそび	1	(1)	274	(274)				
こんろ	1	(1)	1	(1)	1	(1)	6	(6)
ストーブ								
電気装置	1	(1)	80	(80)				
灯火					1	(1)	75	(75)
取灰	1							
その他	4	(1)	3	(2)	2		11,435	
不明	2	(2)	1,711	(1,711)	3	(3)	20,693	(20,591)
合計	17	(10)	2,189	(2,188)	12	(9)	32,531	(20,994)

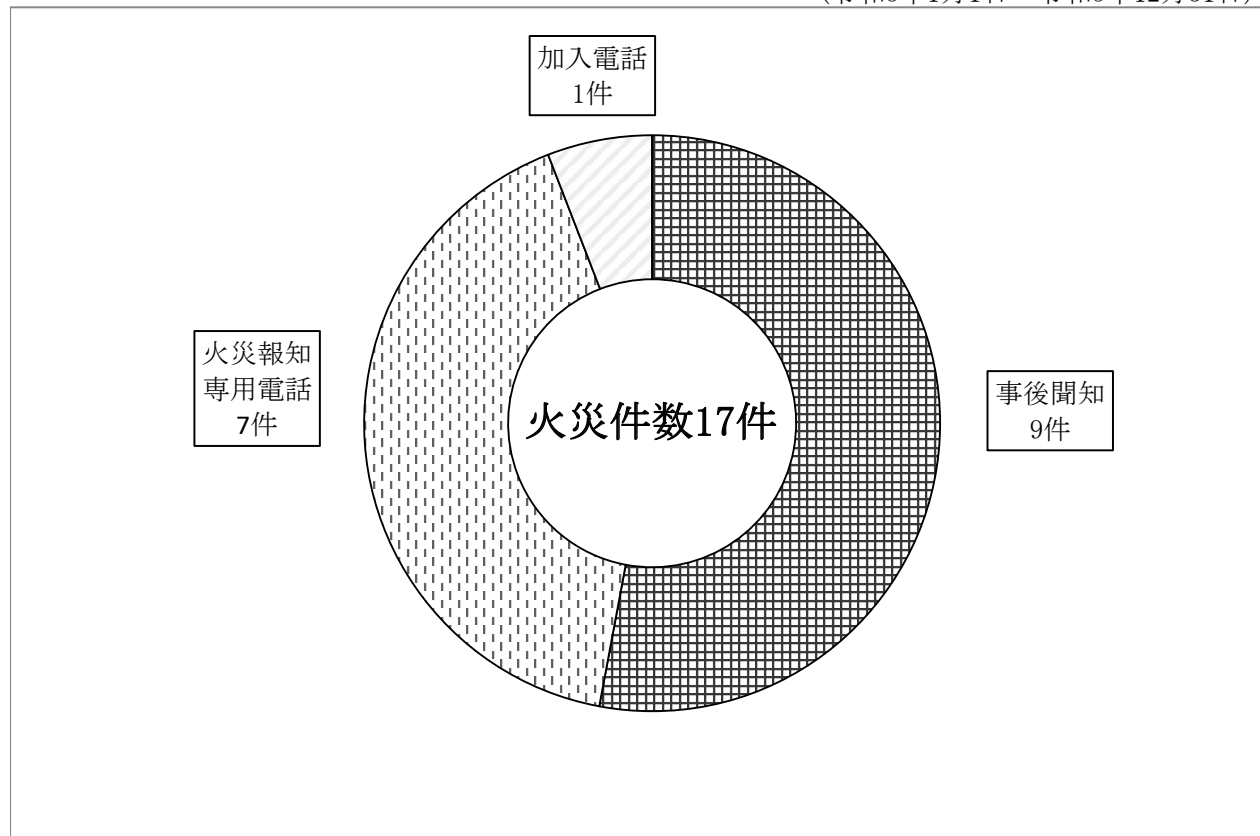
56. 地区別火災発生状況と損害額

	火災 件数	世帯数	人 口	火 災 種 別					損 害 額	
				建 物	車 両	船 舶 航空機	林野	その他	損害額 (千円)	一世帯当たり (円)
増 田	7 (5)	12,256 (11,988)	27,142 (26,932)	5 (3)	1 (1)			1 (1)	346 (8,327)	28 (695)
関 上	1 (0)	1,445 (1,398)	3,175 (3,090)	1 (0)				0 (0)	74 (0)	51 (0)
下増田	2 (1)	3,303 (3,233)	8,185 (8,144)	1 (1)	0 (0)			1 (0)	2 (75)	1 (23)
名取が丘	1 (1)	2,332 (2,311)	5,249 (5,257)	1 (1)					1,491 (6)	639 (3)
館 腰	0 (4)	3,616 (3,530)	7,996 (7,946)	0 (3)				0 (1)	0 (11,682)	0 (3,309)
愛 島	1 (1)	3,350 (3,354)	9,507 (9,621)	0 (1)	0 (0)		0 (0)	1 (0)	1 (12,441)	0 (3,709)
高 館	5 (0)	7,133 (7,069)	18,466 (18,640)	2 (0)			1 (0)	2 (0)	275 (0)	39 (0)
計	17 (12)	33,435 (32,883)	79,720 (79,630)	10 (9)	1 (1)	0 (0)	1 (0)	5 (2)	2,189 (32,531)	(65) (989)

() 内は令和4年、人口・世帯数は令和5年12月末現在

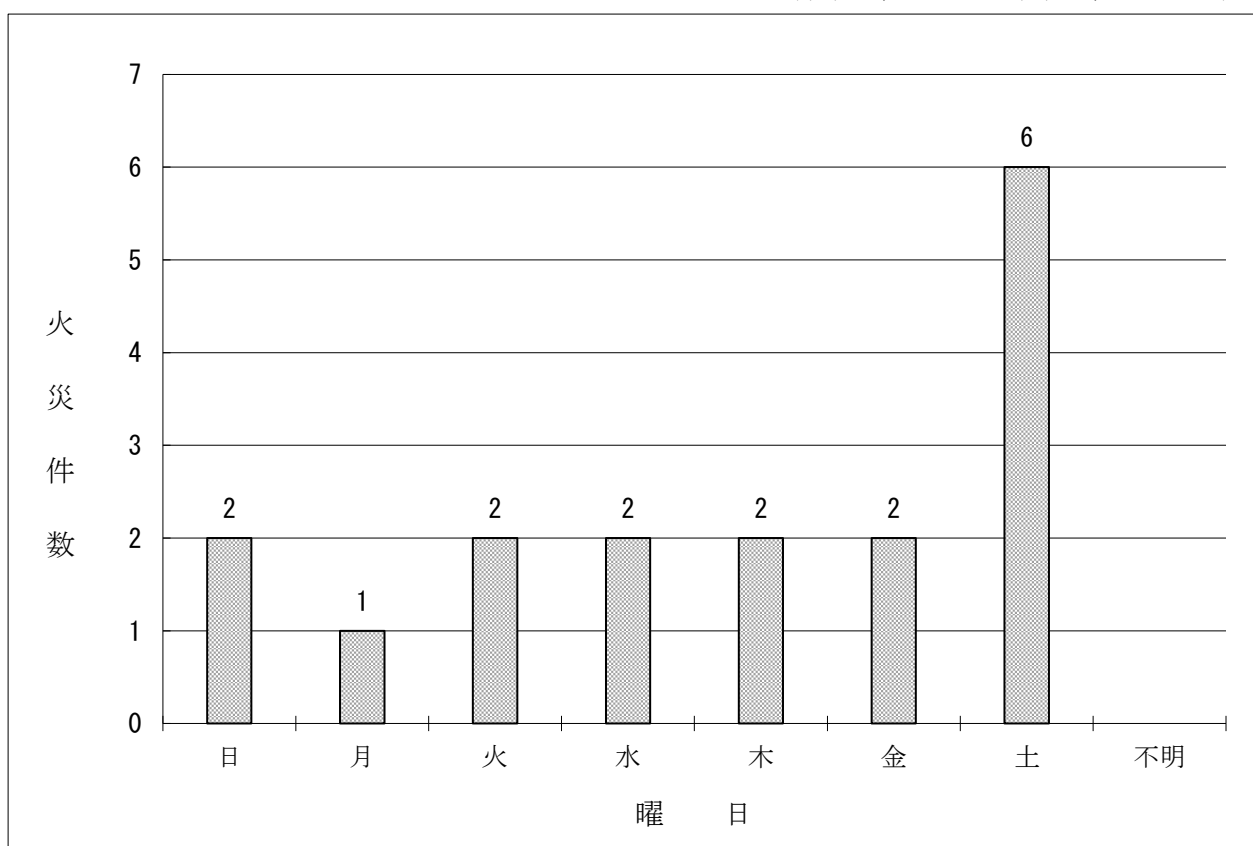
57. 火災覚知別件数

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)



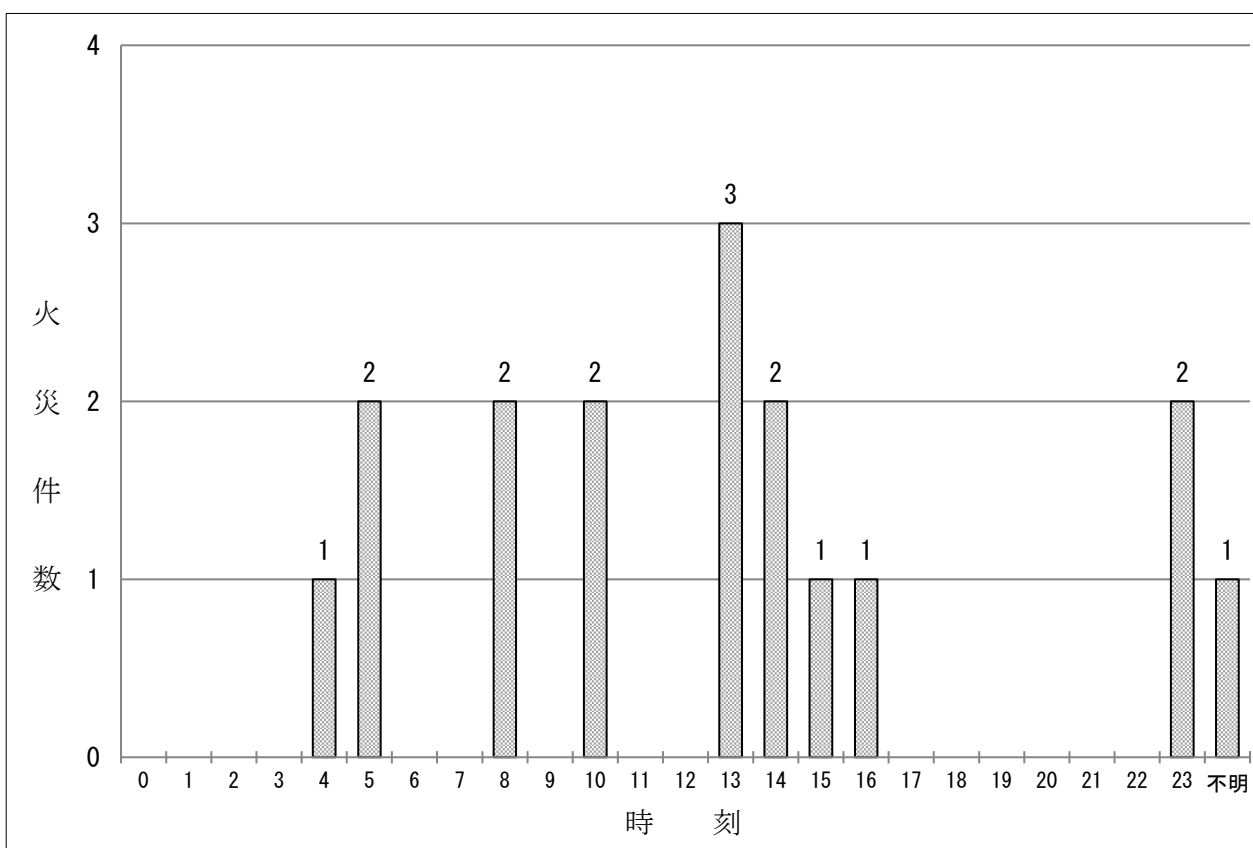
58. 曜日別出火件数

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)



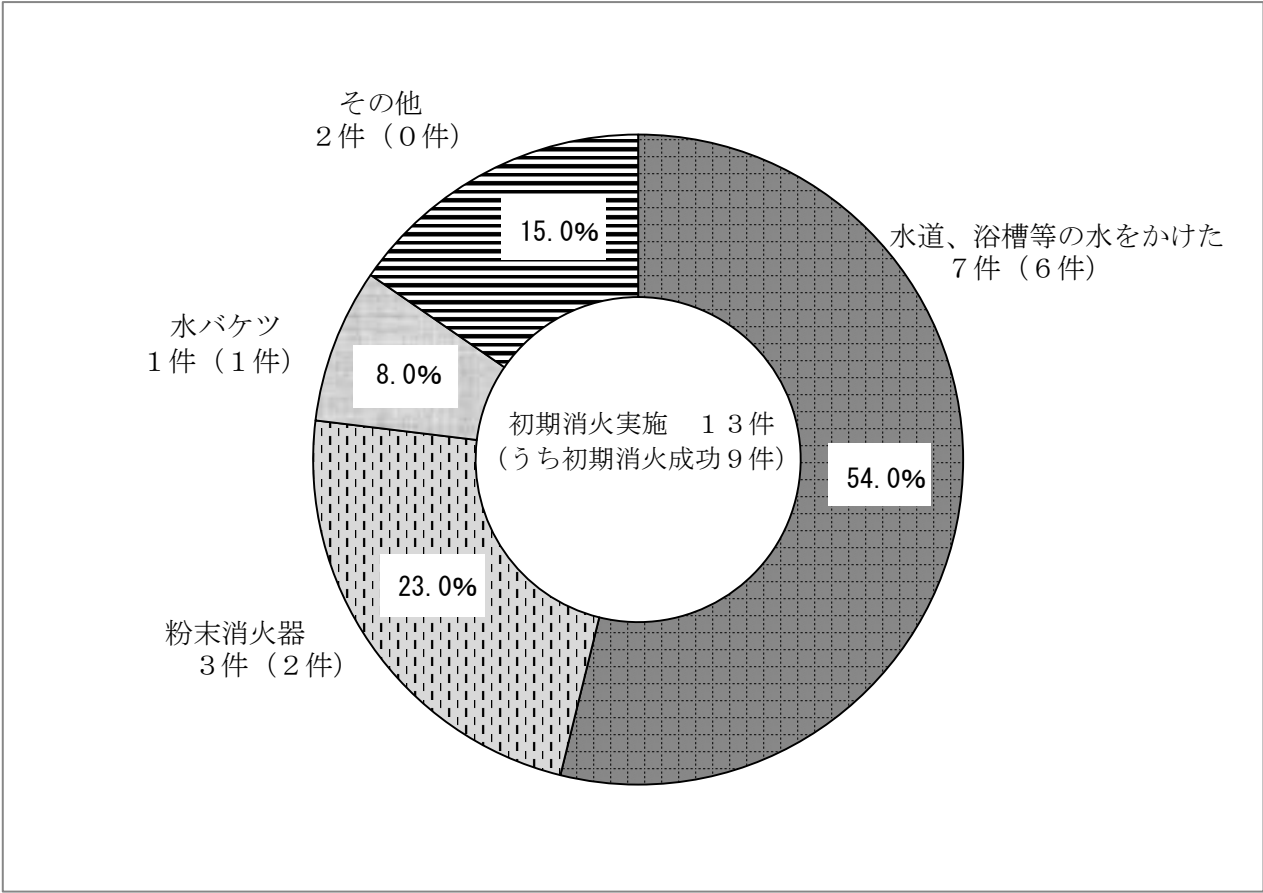
59. 時間別出火件数

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)



60. 初期消火器具等使用状況

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)



61. 建物用途別出火状況

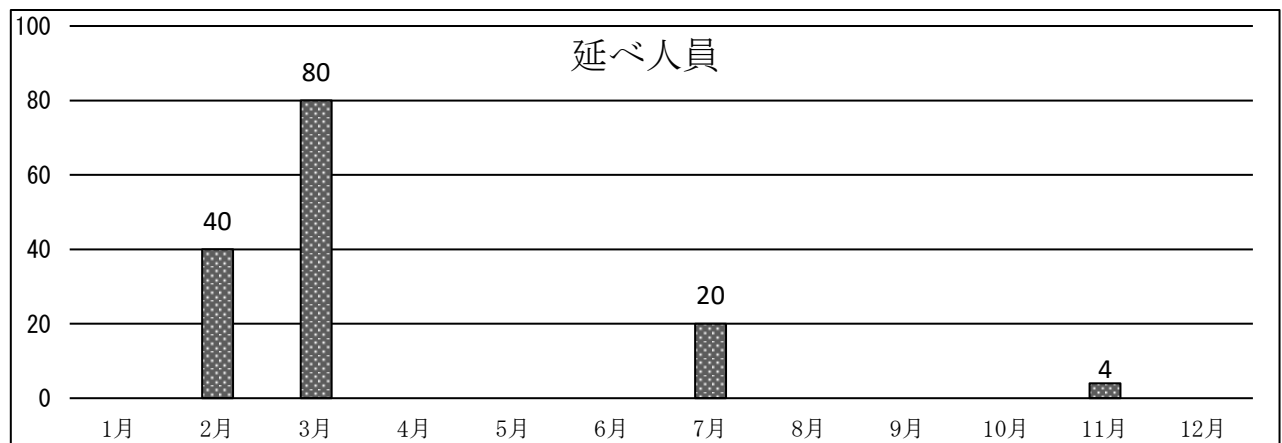
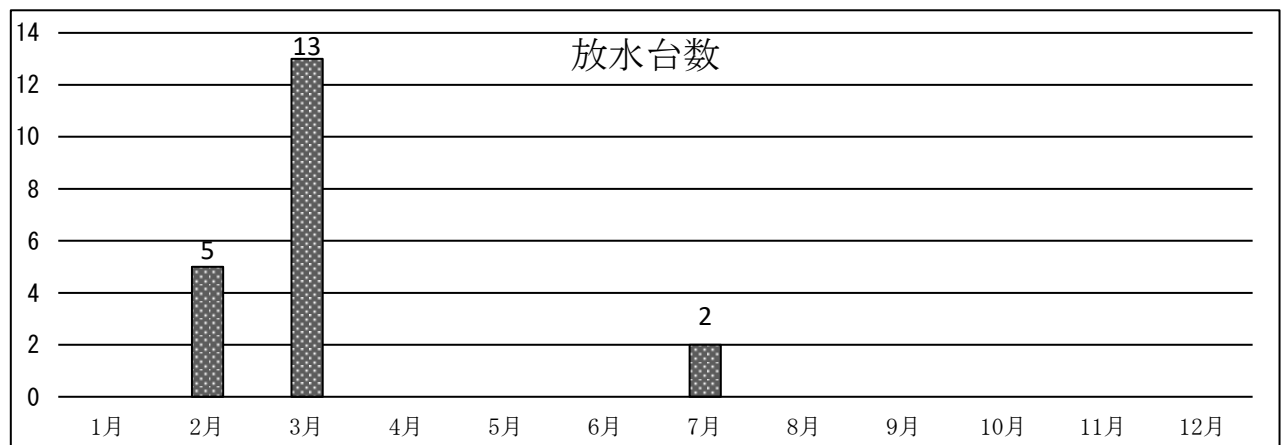
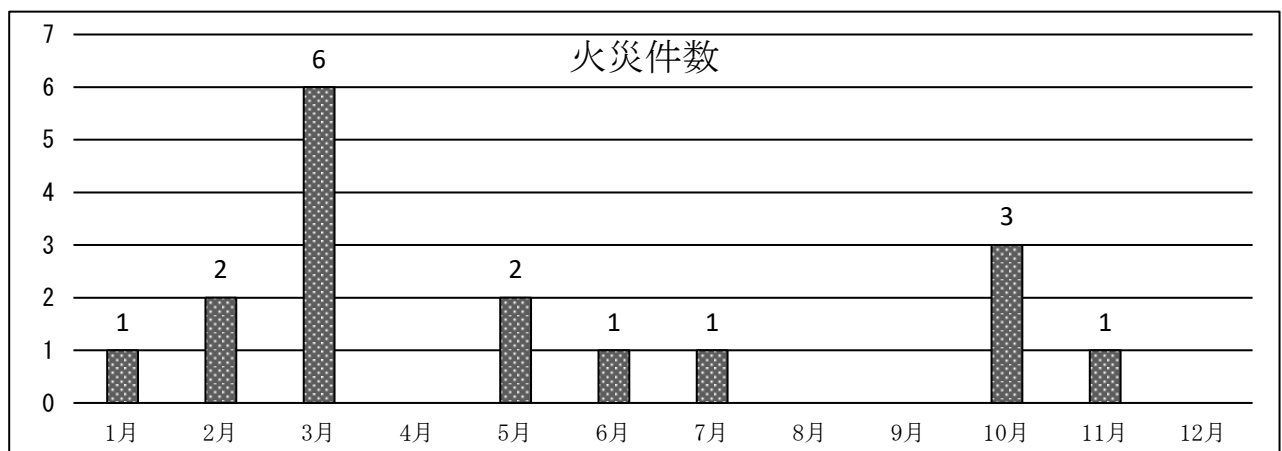
(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

用途 \ 項目	件数	焼 損 面 積 (m ²)		損害額 (千円)
		床 面 積	表 面 積	
専 用 住 宅	5	0	2	537
居住産業併用建築物	1	0	0	2
共 同 住 宅	1	32	3	1,491
産 業 用 建 築 物	3	0	4	158
合 計	10	32	9	2,188

62. 消防署火災出動状況

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

月 別 出 動	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計
火 災 件 数	1	2	6		2	1	1			3	1		17
放 水 台 数		5	13				2						20
延 べ 人 員 (調査出動人員は除く)		40	80				20				4		144



63. 過去の火災発生件数及び損害額

区 分	発 生 件 数	り 災 世 帯 数			り 災 棟 数				り 災 人 員 数	死 者 数	負 傷 者 数
		全 損	半 損	小 損	全 焼	半 焼	部分焼	ぼ や			
平成17年	25	1	2	7	3	1	9	4	34	1	7
18年	28	5	2	14	5	3	5	11	55	1	6
19年	24	2	1	8	1	1	9	4	26		3
20年	34	4	2	12	5	4	5	11	61	2	10
21年	39	3	1	7	7	1	6	8	38	1	2
22年	30	3	2	7	6	2	4	7	37	3	5
23年	51	8	3	14	11	4	12	8	63	3	4
24年	26			6	3		11	3	17		2
25年	27			5	2		3	4	13		2
26年	26	1		3	3	1	4	5	16	2	1
27年	23			6	5		5	4	14		1
28年	21			14	1		5	4	33	1	2
29年	23	2	1	9	1		3	7	31		3
30年	15	3		3	2		4	2	17	2	1
令和元年	21	1		8	6		2	7	25	2	
2年	18	1		2	3	1	1	7	5		4
3年	21	1		11	8	1	3	10	25	1	7
4年	12	3		14	3		9	5	42	1	3
5年	17	1		14	1		2	7	28		2

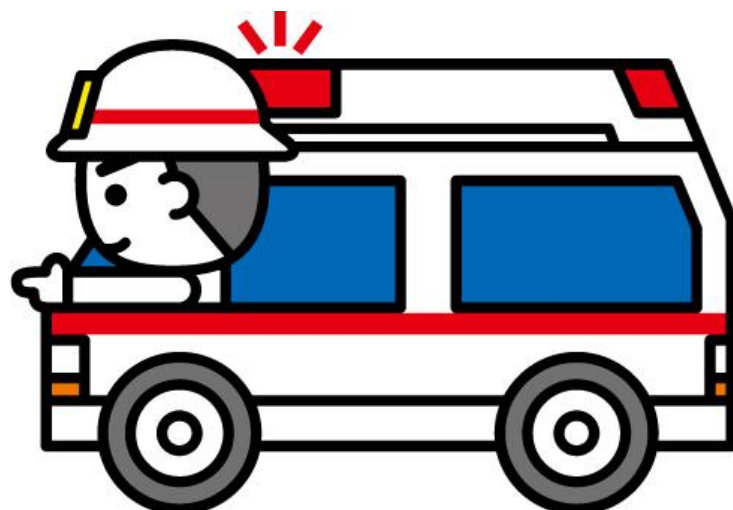
焼 損 面 積			損 害 額 (千 円)					
林野(a)	建 物 (m ²)		合 計	建 物	林 野	船 舶 航空機	車 両	そ の 他
	床面積	表面積						
1,279	452	23	52,347	49,447	2,428		433	39
6	461	34	39,294	32,425			574	6,295
	344	71	10,142	9,283			758	101
	637	78	96,903	96,663			240	
8	651	68	37,517	36,604			834	79
	546	62	50,793	34,042		15,454	862	405
	5,976	158	404,957	403,983			829	145
	549	8	32,970	32,821			140	9
	336	22	6,120	5,046			1,044	30
3	290	1	9,113	7,357			893	863
20	472	14	12,071	3,567			8,504	
3	73	3	15,211	11,039	503		1,255	2,414
	220	9	20,647	12,820			7,754	73
	170	9	4,710	4,436			259	15
	599	4	30,935	29,999			936	
	334	4	41,634	41,231			394	9
10	525	108	10,823	9,692			1,061	70
	425	57	32,531	20,994			166	11,371
25	32	9	2,189	2,188				1

64. 名取市の主な火災

番 号	出 火 場 所	火災種別	出 火 日 時		死 者	負 傷 者
1	高館吉田字内館地内	建 物	S32. 4. 9	12:45		31
2	本郷字大門地内	車 両	S47. 12. 15	0:34	2	1
3	増田字町屋敷東側 (現在、増田3丁目地内)	建 物	S48. 6. 3	23:50		
4	増田字町屋敷西側 (現在、増田2丁目地内)	建 物	S51. 2. 3	4:45	2	
5	植松字新橋地内	建 物	S57. 1. 30	21:30		4
6	高館熊野堂字岩口中地 内	建 物	S57. 2. 7	23:25		2
7	閑上5丁目地内	建 物	S60. 11. 19	0:50		
8	植松4丁目地内	建 物	S61. 2. 22	2:37		
9	下余田字飯塚地内	建 物	S61. 2. 25	2:00		1
10	高館熊野堂字中沢地内 東北自動車道324.9K p	車 両	S62. 3. 10	1:40	1	
11	小塚原字遠東地内	建 物	H 5. 11. 11	7:15		
12	小塚原字遠東地内	建 物	H10. 1. 6	0:31		
13	下増田字南原地内	建 物	H23. 3. 11	16:50		

り災世帯	り災人数	焼損棟数	焼損面積	損 害 額 (千 円)	出 火 原 因
24	191	68	2,753 m ²	22,193	たばこの投げ捨て
			1 台	360	衝突による火花
		1	1,112 m ²	76,237	電気配線による短絡
4	30	7	279 m ²	16,625	石油ストーブ
		2	429 m ²	98,126	絶縁劣化
1	5	2	329 m ²	15,015	風呂釜煙突
2	10	3	524 m ²	55,647	不 明
		3	238 m ²	29,261	放 火
1	5	2	275 m ²	83,682	放 火
			13 台	106,376	衝突の火花
		1	1,114 m ²	43,760	不 明
		2	1,218 m ²	35,955	放火の疑い
		1	4,198 m ² 45 台	317,114	東北地方太平洋沖地震の津波による ショート

VIII 救急・救助



65. 令和 5 年の救急・救助概要

1. 救急概要

(1) 出場件数と搬送人員

令和 5 年中における出場件数は 3,892 件(前年 3,823 件)、搬送人員は 3,515 人(前年 3,412 人)で前年と比較してみると、出場件数は 69 件、搬送人員は 103 人の増である。

これは、市内で一日平均約 10.7 回(前年約 10.5 回)救急車が出場したことになる。

搬送人員のうち名取市に住所を有する者は 2,958 人で、市民の約 27 人(前年約 28 人)に 1 人が救急車によって搬送されたことになる。

出場件数を事故種別で見ると、急病が 2,707 件と一番多く全体の約 70%を占め、次いで一般負傷 476 件、転院搬送 353 件、交通事故 224 件の順となっている。

(2) 月別出場・搬送状況

出場件数の多かった月は 8 月の 430 件、少なかった月は 3 月の 261 件で、搬送人員では 8 月が 389 人と多く 3 月が 238 人と少なかった。

(3) 曜日別・時間別搬送状況

出場件数は月曜日が 581 件と一番多く、次いで水曜日の 579 件、一番少ないのは木曜日の 507 件の出場件数であった。

事故種別から見て、急病では日曜日が 434 件と多く、次いで水曜日が 408 件となっている。交通事故の出場で多いのは金曜日で 43 件、少ないのは日曜日の 21 件である。

時間別出場件数では、10 時から 12 時までが 536 件で最も多く、最も少ないのは 4 時から 6 時までの 128 件である。

(4) 傷病程度別搬送状況

搬送した傷病者を傷病程度で分けると軽症 1,309 人、中等症 1,881 人、重症 292 人、死亡 33 人となっており、急病では中等症が多く、交通事故では軽症が一番多くなっている。

(5) 医療機関への搬送状況

搬送人員 3,515 人のうち 131 人(全体の約 3.7%)が市内の医療機関に収容している。残りの人は主に仙台市および岩沼市の医療機関に収容されており、ドクターヘリ引継ぎ件数は 6 件となっている。

収容に要した時間別搬送人員は、30 分以上 60 分未満が 2,252 人で全体の約 64%を占めている。

2. 救助概要

令和 5 年中における出場件数は 39 件(前年 51 件)、救助人員は 26 人(前年 23 人)で、前年と比較してみると出場件数は 12 件の減、救助人員は 3 人の増である。

事故種別ごとの出場件数は、交通事故が 20 件と一番多く全体の約 51%を占め、次いでその他の事故が 9 件、建物事故が 4 件となっている。

事故種別ごとの救助人員は、交通事故が 14 人と一番多く、次いでその他の事故が 6 人、建物事故が 3 人となっている。

なお、防災ヘリコプターの要請事案は 0 件であった。

66. 救急統計総括表

1. 出場件数 (単位：件)

事故種別		区 分	件 数
事故種別救急出場件数	火	災	2
	自	然 災 害	1
	水	難	1
	交	通	224
	労	働 災 害	34
	運	動 競 技	26
	一	般 負 傷	476
	加	害	17
	自	損 行 為	44
	急	病	2,707
	そ	の 他	360
		転 院 搬 送	353
		医 師 搬 送	
		資 機 材 搬 送	
		そ の 他	7
合 計		3,892	

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

2. 搬送人員 (単位：人)

事故種別		区 分	人 員
事故種別 搬 送 人 員	事 故 種 別	火 災	1
		自 然 災 害	
		水 難	
		交 通	216
		労 働 災 害	34
		運 動 競 技	26
		一 般 負 傷	436
		加 害	12
		自 損 行 為	28
		急 病	2,409
		そ の 他	353
		合 計	3,515

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

3. 医療機関別搬送状況

(令和5年1月1日～令和5年12月31日 単位:人)

医療機関 区 分		国公立	公 的	私 的		その他の 場所	合 計
				病 院	診療所		
搬 送 先	告 示 医 療 機 関	1,111	677	1,321			3,109
	うち 管 外	1,110	677	1,321			3,108
	その他の医療機関	92		168	146		406
	うち 管 外	13		165	98		276
	その他の場所						
	うち 管 外						
	合 計	1,203	677	1,489	146		3,515
	うち管外合計	1,123	677	1,486	98		3,384

4. 転送回数別搬送状況

(令和5年1月1日～令和5年12月31日 単位:人)

事故種別 搬送人員		急 病	交 通	一般負傷	そ の 他	合 計
搬 送 人 員	転 送 0 回	2,400	215	435	454	3,504
	転 送 1 回	9	1	1		11
	転送2回以上					
	合 計	2,409	216	436	454	3,515

67. 救急月別・事故別出場件数及び搬送人員

1. 救急月別・事故別出場件数

(令和5年1月1日～令和5年12月31日 単位:件)

月別 事故種別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計
火 災		1			1								2
自 然 災 害									1				1
水 難				1									1
交 通	23	17	13	18	18	16	17	19	18	22	18	25	224
労 働 災 害	4	1	2	4	3		3	12	2	1	2		34
運 動 競 技		2			4	1	5	3	5	2	2	2	26
一 般 負 傷	41	37	28	38	44	37	28	44	52	38	42	47	476
加 害	2	1	1	2		2	1	2	3	1	2		17
自 損 行 為	5	1	4	2	8	8	2	4	4		3	3	44
急 病	208	181	190	178	216	227	290	312	244	240	223	198	2,707
そ の 他	31	35	23	22	27	23	34	34	33	25	35	38	360
合 計	314	276	261	265	321	314	380	430	362	329	327	313	3,892

2. 救急月別・事故別搬送人員

(令和5年1月1日～令和5年12月31日 単位:人)

月別 事故種別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計
火 災					1								1
自 然 災 害													
水 難													
交 通	25	15	14	17	18	16	12	17	17	19	21	25	216
労 働 災 害	4	1	2	4	3		3	12	2	1	2		34
運 動 競 技		2			4	1	5	3	5	2	2	2	26
一 般 負 傷	36	33	25	37	42	32	27	37	46	35	39	47	436
加 害	2		1	2		2	1		2	1	1		12
自 損 行 為	4	1	2	2	6	4	1	2	3		2	1	28
急 病	176	157	171	160	193	202	262	284	210	218	201	175	2,409
そ の 他	31	33	23	20	27	22	33	34	33	24	35	38	353
合 計	278	242	238	242	294	279	344	389	318	300	303	288	3,515

68. 地区別救急出場件数

(令和5年1月1日～令和5年12月31日 単位:件)

事故種別 地区別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	合 計
増 田				54	10	4	106	1	7	661	122	965
増 田 西				22	3	3	77	3	8	431	113	660
関 上			1	26	2	2	23		4	154	1	213
下 増 田				12			41	1	6	216	40	316
名 取 が 丘	1			6		2	40	1	3	164		217
館 腰				36	4	3	33	2	3	290	11	382
愛 島				22		2	40	4	1	185	43	297
愛 島 台				1	3		9		2	42		57
高 館		1		33	8	6	37		3	186	5	279
ゆ り が 丘				5	1		26		2	128		162
那 智 が 丘				2		2	12	3	1	79		99
相 互 台	1			3	1		19	1	3	104		132
み ど り 台				1		2	7	1	1	43	25	80
仙 台 空 港					1		5			23		29
自動車専用道路					1							1
管 外				1			1			1		3
そ の 他												
合 計	2	1	1	224	34	26	476	17	44	2,707	360	3,892

69. 事故別救急出場件数及び搬送人員

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

区 分	年 別	事 故 種 別											合 計
		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	
出場件数 (単位:件)	4年	10	5	8	246	37	35	521	15	42	2,585	319	3,823
	5年	2	1	1	224	34	26	476	17	44	2,707	360	3,892
搬送人員 (単位:人)	4年	3	6	2	230	35	34	491	13	27	2,257	314	3,412
	5年	1			216	34	26	436	12	28	2,409	353	3,515

70. 事故別傷病程度状況(医療機関搬送分のみ)

(令和5年1月1日～令和5年12月31日 単位:人)

傷病程度 事故種別	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	合 計
火 災				1		1
自 然 災 害						
水 難						
交 通		11	60	145		216
労 働 災 害		3	17	14		34
運 動 競 技		1	12	13		26
一 般 負 傷		51	180	205		436
加 害			7	5		12
自 損 行 為	3	5	14	6		28
急 病	30	192	1,306	881		2,409
そ の 他		29	285	39		353
合 計	33	292	1,881	1,309		3,515

71. 事故別・曜日別救急出場件数

(令和5年1月1日～令和5年12月31日 単位:件)

曜日別 事故種別	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	合 計
火 災							2	2
自 然 災 害				1				1
水 難	1							1
交 通	21	38	35	33	25	43	29	224
労 働 災 害	2	6	5	5	4	9	3	34
運 動 競 技	8	2	1	6	1	4	4	26
一 般 負 傷	68	76	77	69	59	62	65	476
加 害	2	2		3	5	1	4	17
自 損 行 為	6	5	6	6	6	9	6	44
急 病	434	394	376	408	354	347	394	2,707
そ の 他	22	58	68	48	53	67	44	360
合 計	564	581	568	579	507	542	551	3,892

72. 事故別・年齢別救急搬送人員状況

(令和5年1月1日～令和5年12月31日 単位:人)

事故種別 年齢区分		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	男女別計	合計
0～9	男				4		1	28			133	15	181	293
	女				4			17			84	7	112	
10～19	男				33		18	13		2	54	4	124	192
	女				10		1	9		2	45	1	68	
20～29	男				18	4		4	1	1	55	6	89	203
	女				11	1	1	5		5	77	14	114	
30～39	男				11	6	1	6		3	59	7	93	201
	女	1			14	1		2	3	3	74	10	108	
40～49	男				7	9		8		1	67	10	102	214
	女				12	1	2	6		2	80	9	112	
50～59	男				19	4	1	15	2	1	112	23	177	303
	女				10	1	1	13	1	1	90	9	126	
60～69	男				14	5		14	3	1	151	34	222	365
	女				10			26		3	94	10	143	
70～79	男				11	2		39		1	250	49	352	617
	女				9			32			187	37	265	
80以上	男				11			66	1	1	353	52	484	1,127
	女				8			133	1	1	444	56	643	
合計	男				128	30	21	193	7	11	1,234	200	1,824	3,515
	女	1			88	4	5	243	5	17	1,175	153	1,691	

73. 時間別救急出場件数

(令和5年1月1日～令和5年12月31日 単位:件)

時間別 事故種別	0 ～ 2	2 ～ 4	4 ～ 6	6 ～ 8	8 ～ 10	10 ～ 12	12 ～ 14	14 ～ 16	16 ～ 18	18 ～ 20	20 ～ 22	22 ～ 24	合 計
火 災				1	1								2
自 然 災 害					1								1
水 難						1							1
交 通	1		5	27	25	28	23	30	27	29	22	7	224
労 働 災 害	1			2	2	11	7	3	3	2	2	1	34
運 動 競 技					3	6	5	3	4	5			26
一 般 負 傷	12	14	7	40	64	79	54	56	55	43	35	17	476
加 害	3			2	1				1	4	4	2	17
自 損 行 為	3			3	3	3	8	9	6	4	3	2	44
急 病	142	127	113	217	303	286	271	291	272	252	241	192	2,707
そ の 他	2	2	3	3	23	122	70	46	59	22	6	2	360
合 計	164	143	128	295	426	536	438	438	427	361	313	223	3,892

74. 市町村別傷病者搬送先状況

(令和5年1月1日～令和5年12月31日 単位:人)

名取市内 搬送人員	仙台市内 搬送人員	岩沼市内 搬送人員	その他の地区 搬 送 人 員	県 外 搬送人員	D r . ヘリ 引 継 ぎ	合 計
131	2,650	693	34	1	6	3,515

75. 発生場所別搬送人員

(令和5年1月1日～令和5年12月31日 単位:人)

場所 種別	住 宅	公衆出入場	仕 事 場	道 路	そ の 他	合 計
急 病	1,832	486	41	44	6	2,409
交 通		8	1	205	2	216
一般負傷	286	115	8	22	5	436
そ の 他	38	380	32	4		454
合 計	2,156	989	82	275	13	3,515

76. 不搬送別状況

(令和5年1月1日～令和5年12月31日 単位:件)

事故種別 種 別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	合 計
辞 退 (到 着 前)				1			3			14		18
辞 退 (到 着 後)				18			29	4	4	199	2	256
拒 否				3			5	1		43		52
明 ら か な 死 亡			1	1					12	28		42
他 車 (隊) 搬 送				3						2		5
傷 病 者 無 し	1	1		4						5	5	16
誤 報 ・ い た ず ら										2	1	3
そ の 他							5	1		5		11
合 計	1	1	1	30			42	6	16	298	8	403

77. 病院収容所要時間別搬送人員

(令和5年1月1日～令和5年12月31日 単位:人)

時間 事故種別	救急入電から医療機関に収容するまでに要した時間別搬送人員						
	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	合 計
急 病		3	43	1,539	778	46	2,409
交 通			4	123	86	3	216
一般負傷			5	246	177	8	436
そ の 他			43	344	62	5	454
合 計		3	95	2,252	1,103	62	3,515

78. 救急隊員の行った応急処置（特定行為等）

（令和5年1月1日～令和5年12月31日 単位：件）

事故種別			急病	交通	一般負傷	その他	合計	
応急処置								
応急処置の内容	止血		7	19	36	11	73	
	固定		3	48	27	12	90	
	人工呼吸		5	2		1	8	
	胸骨圧迫のみ						0	
	心肺蘇生		62	2	1	6	71	
	うち自動心臓マッサージ器		25		1	5	31	
	酸素吸入		344	10	16	111	481	
	気道確保		33	4	1	5	43	
	保温		26	3	2	1	32	
	被服		12	34	67	15	128	
	在宅療法の継続		2			1	3	
	その他応急処置		2,211	195	414	429	3,249	
	血圧測定		2,198	207	401	434	3,240	
	聴診器聴取		196	13	19	28	256	
	S P O ₂ 測定		2,330	213	425	442	3,410	
	心電図		1,833	77	236	295	2,441	
	救命士処置	除細動		5	1			6
		血糖測定		51	2	2	3	58
		特定行為処置件数		199	8	3	6	216
		うち 気道確保	上気道デバイス	27			2	29
			挿管チューブ	9				9
		うち 静脈路確保	心肺停止前	55	5	1	2	63
			心肺停止後	48	1	1	1	51
		うち 薬剤投与	アドレナリン	49	1	1	1	52
			ブドウ糖	11	1			12
応急処置件数合計			9,517	838	1,650	1,800	13,805	

（単位：人）

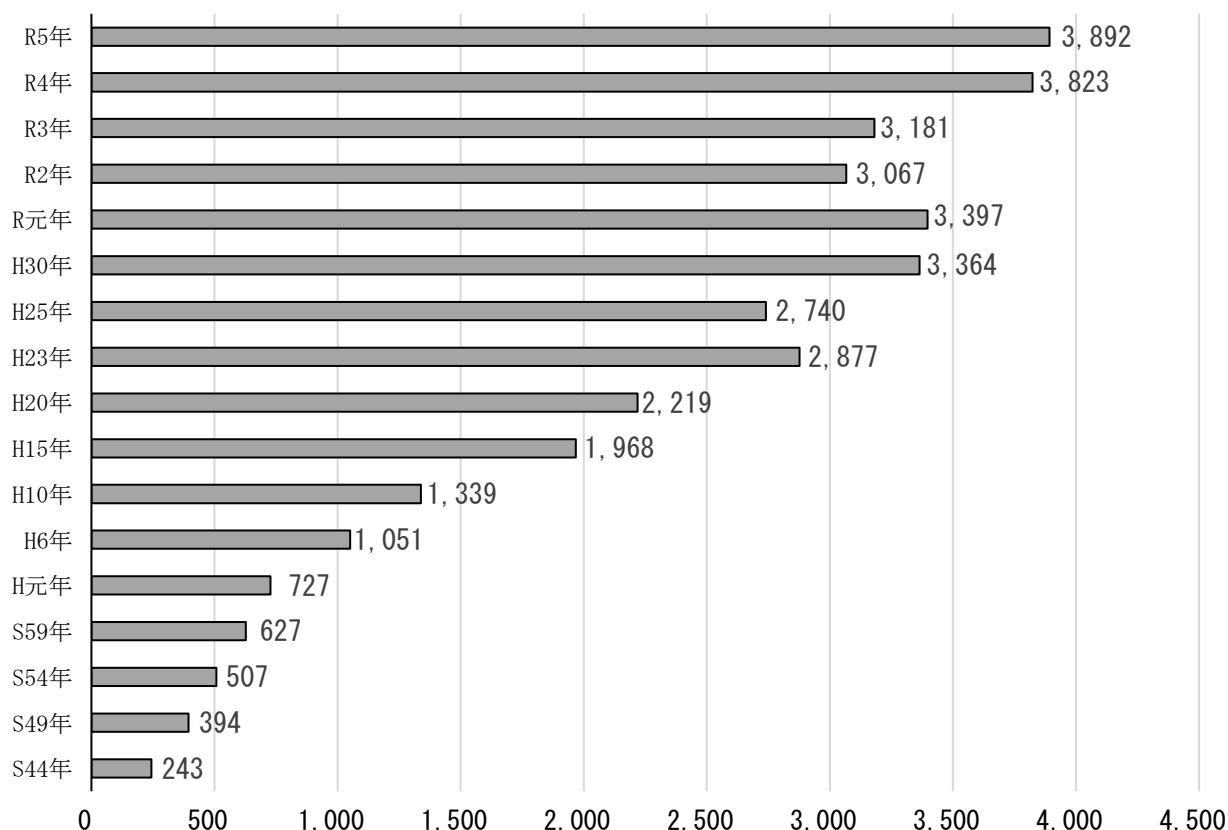
応急処置を受けた人（不搬送を含む）	2,407	216	436	452	3,511
うち特定行為を受けた人	112	7	2	7	128

79. 救急隊別出場件数

(令和5年1月1日～令和5年12月31日 単位:件)

救急1号車	救急2号車	救急3号車	救急5号車	救急6号車	その他の車両
1,232	653	1,193	590	222	2

80. 救急業務発足以来の救急出場推移



81. 応急手当普及啓発活動状況

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

講習会種別	開催回数	受講人数	内 容
	累 計	累 計	
応急手当講習会	41	1,011	救急車や医師が到着するまでに実施する応急手当の方法(3時間未満)
普通救命講習	55	1,025	心肺蘇生法、AED取扱い要領、大出血時の止血法(3時間)
	1,350	23,394	
上級救命講習会	1	8	心肺蘇生法、AED取扱い要領、大出血時の止血法、傷病者管理、外傷の手当搬送法(8時間)
	34	383	
応急手当普及員講習会	0	0	事業所の従業員や、各種団体の関係者に対して普通救命講習の指導者になる為の講習(24時間)
	8	30	

82. 月別救助出場状況及び救助人員

1. 事故種別出場件数

(令和5年1月1日～令和5年12月31日 単位：件)

種別 月	火災	交通事故	水難事故	自然風水 然災害・	機械に よる事 故に	建物等 に	酸欠事 故	爆発事 故	その他 の事故	合 計
1 月		2							1	3
2 月		3				2				5
3 月		2							1	3
4 月		2	1						2	5
5 月						1	1		4	6
6 月		2								2
7 月			1			1				2
8 月		1							1	2
9 月		3		1			1			5
10 月		1	1							2
11 月		2								2
12 月		2								2
合 計		20	3	1		4	2		9	39

2. 事故種別救助人員

(令和5年1月1日～令和5年12月31日 単位：人)

種別 月	火災	交通事故	水難事故	自然風水 然災害・	機械に よる事 故に	建物等 に	酸欠事 故	爆発事 故	その他 の事故	合 計
1 月		1							1	2
2 月		2				1				3
3 月		1							1	2
4 月		3	1						1	5
5 月						1	1		3	5
6 月										
7 月						1				1
8 月		1								1
9 月		1					1			2
10 月		1								1
11 月		3								3
12 月		1								1
合 計		14	1			3	2		6	26

83. 救助完了時間別状況

(令和5年1月1日～令和5年12月31日 単位：件)

事故種別	覚知から救出完了までに要した時間							救助を要しなかったもの
	合計	10分未満	～20分	～30分	～60分	～120分	120分以上	
合計	39	6	7	9	3			14
火災								
交通事故	20	3	5	4	1			7
水難事故	3				1			2
自然災害	1							1
機械事故								
建物事故	4		1	2				1
酸欠事故	2	1	1					
爆発事故								
その他の事故	9	2		3	1			3

84. 救助業務過去10年間の救助出場推移

種別 年	救 助 人 員 (人)	出 場 件 数 (件)	出 場 件 数 の 内 訳								
			火災	交通	水難	自 災 然 害	機械	建物	ガ 酸 ス 欠	爆発	その他
平成26年	12	30	9	12	2						7
平成27年	14	37	1	14	6			4	1		11
平成28年	20	45	2	21	3		3	3			13
平成29年	43	49	1	16	9	3	2				18
平成30年	29	47	3	23	4				2		15
令和元年	31	62		22	9	7		4			20
令和2年	30	46		19	7		3	6			11
令和3年	29	41		17	4						20
令和4年	23	51		11	9		1	19	1		10
令和5年	26	39		20	3	1		4	2		9

Ⅷ 消防協力団体



85. 消防協力団体の概要

市内には、自分達の地域・職場は自分達で守るという理念のもとに防火協力会、防災安全協会、女性防火クラブ及び幼年消防クラブ等、数多くの消防協力団体がありそれぞれ活発な活動を行っている。

名取市防火協力会連合会は、昭和 36 年以降市内各地区に全戸加入で結成された。その各地区防火協力会をもって昭和 46 年に連合会組織を設立し、年間を通し自主的な防火活動を行うとともに、地域防災の要である消防団への協力及び女性防火クラブの育成等、地域ぐるみの防火体制の協力を努めているところである。

名取市防災安全協会は、名取市危険物安全協会と名取市防火管理者協議会が統合し平成 26 年 5 月に設立され、市内において防火管理者を有する事業所及び危険物施設を所有する事業所、さらに本会の目的達成に賛同するものをもって組織され、現在は 148 事業所が加入している。今後は会員事業所間の協力関係をより密なものとし、本来の目的である危険物災害の予防と防火管理の徹底のさらなる普及啓発に努め、災害発生の防止に努める。さらに、会員のガソリンスタンド事業所は大規模災害が発生した場合、災害活動に対し協力支援することを目的に平成 16 年 6 月 29 日名取市と覚書を締結し、今後の大規模災害対応に大きく貢献するものと思われる。

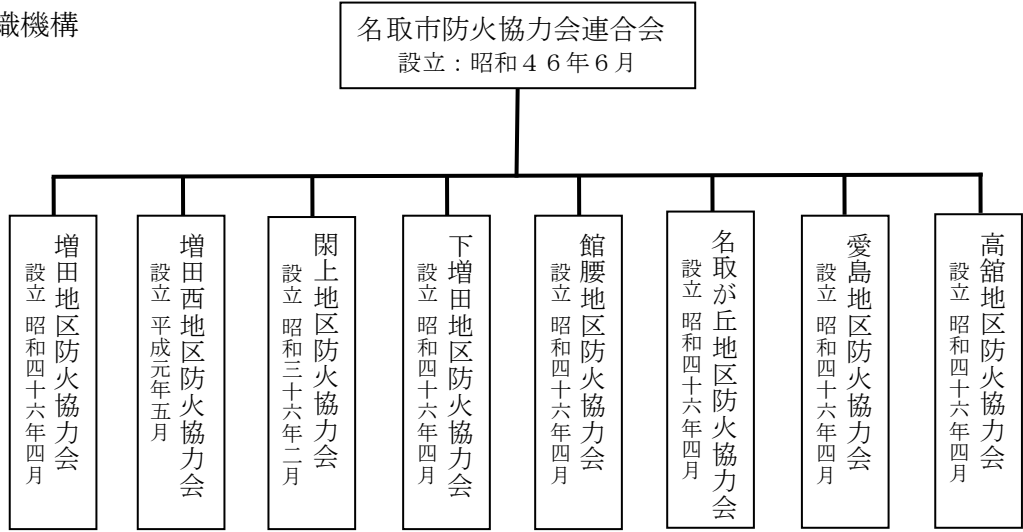
名取市婦人防火クラブ連絡協議会は、令和 6 年 4 月から名取市女性防火クラブ連絡協議会と名称変更を行い、7 地区の連絡協議会・連合会と共に新たに再始動した。本会の事業は、各家庭の防火はもとより地域ぐるみの防火の輪を広げ、防火推進大会を毎年開催し、火災予防を呼びかけるとともに、初期消火訓練・炊き出し訓練等を実施し、防災支援活動において積極的に活躍している。

幼年消防クラブは、こども園・幼稚園・保育所併せて 15 クラブで結成されており、毎年、花火教室を開催して安全で楽しい花火指導を実施すると共に、子供の火遊びによる出火防止を重点に防火思想の普及啓発に努めている。

86. 名取市防火協力会連合会

(令和6年4月1日現在)

1. 組織機構



2. 会員数 名取市全世帯

3. 目的

この会は、名取市消防本部の指導の下に、市内地区防火協力会相互の連絡協調を図り、市民に対する防火思想の普及と啓発に努め、火災予防に関する調査研究を行うことにより社会公共の福祉の増進と明るい地域社会の建設に寄与することを目的とする。

4. 事業

- (1) 会員相互並びに関係機関、団体との連絡協調
- (2) 予防消防に関する調査と研究
- (3) 火災予防思想の啓蒙と周知徹底
- (4) 消防活動に関する協力援助
- (5) その他連合会の目的達成に必要な事項

87. 外郭団体

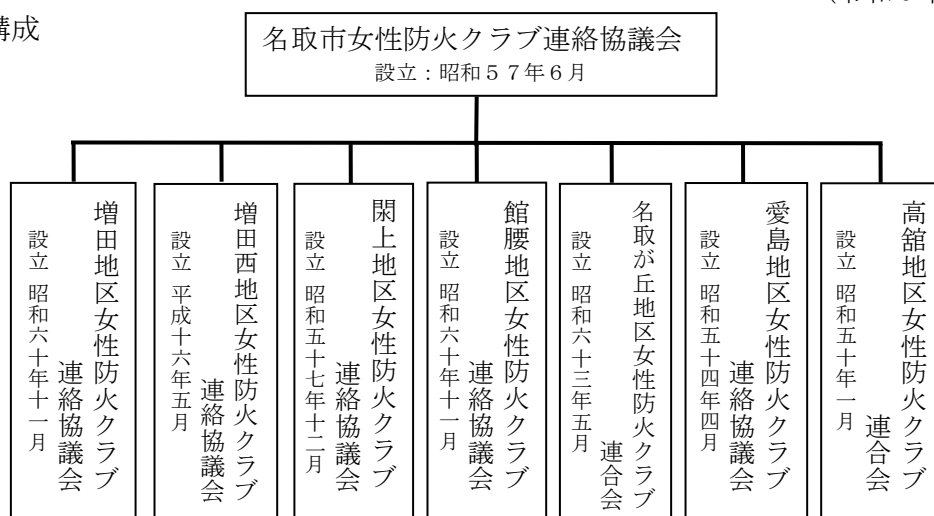
(令和6年4月1日現在)

名取市防災安全協会	
設立 平成26年5月	会員数 148事業所
目的： 本会は、会員相互の親睦と融和を図り、防火管理の徹底と危険物取扱の適正に努め、災害の発生を未然に防止し、もって会員の事業発展と社会公共の福祉増進に寄与することを目的とする。	
事業 ・危険物取扱者試験準備講習会の開催 ・普通救命講習会の開催 ・防災訓練の実施 ・研修視察の実施 ・会員親睦会の開催 ・機関誌 会報「危防」の発行	
防火啓発事業 ・秋・春の火災予防運動への協賛 ・防火ポスター、標語審査会 ・防火推進大会への協賛	

88. 名取市女性防火クラブ連絡協議会

(令和6年4月1日現在)

1. 組織構成



2. 会員数 12,233 名（名取市女性防火クラブ連絡協議会）

3. 目的

この会は、名取市消防本部管内、単位女性防火クラブ及び各地区連絡協議会等の相互の連絡協調を図るとともに、予防消防に関する調査研究を行い、市民に対する防火思想の普及と啓発に努め、防火意識の向上発展に寄与することを目的とする。

4. 事業

- (1) 会員相互並びに関係機関、団体との連絡協調
- (2) 火災予防思想の啓蒙と周知徹底
- (3) 火災予防についての調査及び研修
- (4) その他の目的達成に必要な事項

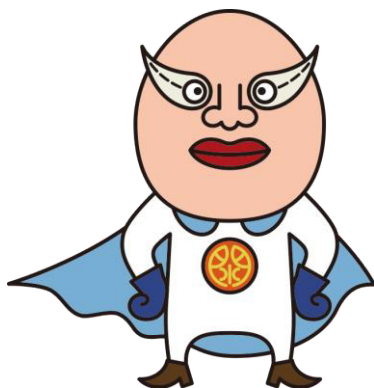
89. 幼年消防クラブ

(令和6年4月1日現在)

(クラブ員 960 名)

ク ラ ブ 名	設 立
なとり認定こども園幼年消防クラブ	平成 22 年 4 月
なとり第二こども園幼年消防クラブ	平成 22 年 4 月
閑上わかばこども園幼年消防クラブ	昭和 61 年 11 月
名取市名取が丘保育所幼年消防クラブ	平成 元 年 1 月
手倉田くじら保育園幼年消防クラブ	平成 31 年 4 月
名取市増田保育所幼年消防クラブ	平成 元 年 1 月
名取みたぞのこども園幼年消防クラブ	平成 24 年 9 月
名取市ゆりが丘保育所幼年消防クラブ	平成 6 年 4 月
高館あおぞら保育園幼年消防クラブ	平成 13 年 4 月
名取あけぼのこども園幼年消防クラブ	平成 26 年 4 月
愛の杜めぐみ保育園幼年消防クラブ	平成 28 年 7 月
名取市閑上保育所幼年消防クラブ	平成 31 年 4 月
杜せきのしためぐみ保育園幼年消防クラブ	令和 元 年 5 月
ぷらむ館腰こども園幼年消防クラブ	令和 2 年 4 月
名取ひよこ園幼年消防クラブ	令和 5 年 5 月

シー・ラッスー



閑上しらすPRキャラクター
『シー・ラッスー』
(令和4年7月)

名取市の海産物である「閑上しらす」の良さを世の中にもっと知っていただくために、しらすへの愛情にあふれる地元の方々の想いと、地域の大学生の熱い情熱により誕生した、名取市公認のご当地キャラクターです。

令和6年版消防概要

令和6年8月9日発行

編集発行 名取市消防本部
〒981-1224
宮城県名取市増田五丁目18番32号

電話 (022) 382-0242
FAX (022) 383-8711
E-MAIL natori-fd@aioros.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.fdn119.jp>

間紙イラスト 企画・制作 全国消防長会広報防災委員会
全国消防イメージキャラクター「消太」

